

## 2. 昆虫類

### (1) 調査方法

#### 1) 調査対象地

第Ⅲ章に示した 32 箇所 7 ルートを対象とした。但し、都立公園のような大規模な緑地は、公園全体としての昆虫類相の評価ができるように調査地点以外での調査も行い、データの補足を行った。その結果、26 箇所 7 ルートとして集計した。草地 2 箇所（都立光が丘公園 昆虫原っぱ、都立城北中央公園 草地）、水辺 4 箇所（石神井池、三宝寺池、富士見池、都立光が丘公園バードサンクチュアリ水辺）はそれぞれの位置する公園にまとめた。

上記のうち、特に面積が大きく、生息種の把握に十分な調査時間が必要と考えられる 8 箇所の樹林地と、区内で比較的大規模な草地である区立びくに公園、それに隣接している八の釜憩いの森については可能な限り全種を対象とした現地調査を行った。以下、これらの 10 箇所の調査地を「大規模緑地」とする。（表Ⅳ－2－1）。

残りの 16 箇所 7 ルートの調査地については、大型のために調査効率が良く、生態的な知見の豊富なチョウ類、トンボ類、バッタ類などの主要種群の確認（大型種調査）を中心に行った。以下これらを「小規模緑地」とする。

表Ⅳ－2－1 全種調査を行った調査地・大規模緑地 10 箇所

エリア	調査地名	面積
Ⅰ 北町・田柄エリア	都立光が丘公園	60.8ha
	都立城北中央公園	25.5ha（区外含む）
Ⅱ 豊玉・中村エリア	武蔵学園	7.1ha
	豊島園	30ha
Ⅳ 石神井・関町エリア	都立石神井公園	20.1ha
	区立武蔵関公園	4.6ha
Ⅳ 大泉・土支田エリア	都立大泉中央公園	10.3ha
	稻荷山・清水山憩いの森	2.9ha
	八の釜憩いの森	0.4ha
	区立びくに公園	1.2ha（遊歩道含む）

### 2) 調査時期および時間

#### ①調査時期

現地調査は、全種調査を行った 10 箇所については、平成 21 年 4 月に下見を兼ねた補足調査を行い、その後 5 月から 10 月にかけて現地調査を行った。一方、大型種調査は、4～5 月に「春期調査」、7 月に「夏期調査」、9～10 月に「秋期調査」を行った。

各調査地の実施状況を表Ⅳ－2－2 に示した。

#### ②調査時間

調査実施時間は、気温の上がる 9 時前後から開始し、16 時頃には終了するように実施した。この他、都立光が丘公園および都立石神井公園については、夏期にコオロギ・キリギリス類の夜間調査も行った。

### ③補足調査

上記のほかに、補足として、平成 20 年度に行った下見時の記録や、平成 20～22 年度に行った他の分類群の調査時の記録、平成 21～23 年度に実施した自然観察会などで確認した種も含めた。このほか、都立光が丘公園バードサンクチュアリの開園日の記録も含めた。

さらに、移動の途中など、大規模緑地・小規模緑地ではない場所での記録については、これらの緑地では確認していない種についてのみ取り上げた。

### 3) 調査方法

目視およびいわゆる「鳴き声」などにより、個体の確認を行った。捕虫網や 8～10 倍程度の双眼鏡を補助的に用いた。なお、その場で同定できないものについては、捕獲し、後日、種の同定を試みた。

この他、特に大型の樹林を有する都立光が丘公園および都立石神井公園と、通常では調査が困難である屋敷林 4 箇所については、ベイトトラップ<sup>※64</sup>により地表徘徊性昆虫類<sup>※65</sup>の捕獲も行った。

※64 ベイトトラップ：ベイティッドピットホールトラップとも言う。糖蜜や腐肉等の誘引餌（ベイト）を入れたトラップ（プラスチックコップ等）を、口が地表面と同じになるように埋設して、落ち込んだ昆虫を採集する方法。

※65 地表徘徊性昆虫類：オサムシ類やゴミムシ類、アリ類などの主に地表を徘徊して生活する昆虫のこと。

表Ⅳ－２－２ 昆虫調査 実施日（平成 21 年度）

調査地			調査実施日			
エリア	記号	調査地名	春期調査	夏期調査	秋期調査	
Ⅰ 北町・田柄 エリア	Ⅰ①	都立光が丘公園	4月28日 6月9日	7月7日	8月17日	9月8日
			5月12日 6月15日	7月14日	8月18日	10月5日
			5月18日			
	Ⅰ②	都立城北中央公園	5月20日 6月17日	7月8日	8月19日	9月15日
	Ⅰ③	どんぐり山憩いの森	5月18日	7月14日		9月15日
	Ⅰ④	八幡神社	5月14日	7月28日		9月16日
Ⅱ 豊玉・中村 エリア	Ⅱ①	武蔵学園	4月27日 6月22日	7月13日	8月24日	9月28日
			5月25日			
	Ⅱ②	豊島園	5月25日 6月22日	7月13日	8月24日	9月28日
	Ⅱ③	廣徳寺・区立高稲荷公園	5月12日	7月31日		9月28日
	Ⅱ④	氷川神社	5月8日	7月22日		9月30日
Ⅲ 石神井・関町 エリア	Ⅲ①	都立石神井公園	4月27日 6月8日	7月6日	8月10日	9月1日
			5月11日 6月16日	7月27日	8月11日	10月13日
			5月19日			
	Ⅲ②	区立武蔵関公園	5月27日 6月24日	7月15日	8月26日	9月29日
	Ⅲ③	東京カトリック神学院	4月23日	7月15日		9月26日
	Ⅲ④	天祖若宮八幡宮	5月15日	7月15日		9月29日
Ⅳ 大泉・土支田 エリア	Ⅳ①	都立大泉中央公園	5月20日 6月17日	7月8日	8月19日	9月15日
			4月22日 6月10日	7月22日	8月12日	10月6日
	Ⅳ②	稲荷山・清水山憩いの森	5月13日			
	Ⅳ③	ハの釜憩いの森	5月26日 6月23日	7月21日	8月25日	9月14日
	Ⅳ④	土支田八幡宮	5月7日	7月21日		9月18日
	Ⅳ⑤	MU氏邸	5月7日	7月21日		9月18日
	Ⅳ⑥	小作原広場	5月21日	7月29日		9月11日
ルート	Ⅳ⑦	井頭こぶし憩いの森	5月20日	7月29日		9月11日
			5月21日	7月29日		9月11日
	Ⅳ⑧	区立びくに公園	5月26日 6月23日	7月21日	8月25日	9月14日
	Ⅳ⑨	〇氏畑	5月21日	7月29日		9月11日
	R①	練馬駅周辺ルート	5月27日	7月28日		9月22日
	R②	城南住宅ルート	5月12日	7月31日		9月28日
	R③	田柄川緑道ルート	5月18日	7月14日		9月15日
R④	立野町ルート	5月15日	7月15日		9月29日	
R⑤	土支田・谷原ルート	4月22日	7月21日		9月18日	
R⑥	石神井川流域	4月24日	7月27日		9月19日	
R⑦	白子川流域	5月20日	7月29日		9月11日	

## (2) 調査結果

### 1) 確認種および重要種・外来種

#### ①確認種

平成 20 年度に行った下見などの調査結果に、平成 21 年度の調査結果、他の分類群の調査や任意調査（平成 22 年度分も含む）、都立光が丘公園バードサンクチュアリの観察記録を合わせ、とりまとめた結果を表Ⅳ-2-3に示した。

全種調査を行った 10 箇所については、表Ⅳ-2-4（89 ページ以降）に、その他の調査地等については表Ⅳ-2-5（98 ページ以降）、表Ⅳ-2-6（88 ページ）に示した。

現在までに、全数調査を行った 10 箇所で 13 目 161 科 698 種を確認した。その他の調査地では 11 目 81 科 198 種を確認し、このうち 3 科 22 種が全数調査地では確認していない種であった。このほか、任意の調査地でのみ確認した 7 種を含めると、合計 13 目 164 科 727 種を確認したことになる（外来種を含む）。

目別では、コウチュウ目が 36 科 215 種と最も多く、次いでチョウ目が 28 科 149 種、カメムシ目が 36 科 118 種となっている。

表Ⅳ-2-3 昆虫類の目・科別確認種数

No.	目名	大規模緑地		小規模緑地での加算		その他の場所での加算	合計	
		科数	種数	科数	種数	種数	科数	種数
1	トンボ	9	34				9	34
2	ゴキブリ	2	2				2	2
3	カマキリ	1	3				1	3
4	シロアリ	1	1				1	1
5	バッタ	12	44			1	12	45
6	ナナフシ	1	1				1	1
7	ハサミムシ	2	4				2	4
8	カメムシ	36	114		4		36	118
9	アミメカゲロウ	4	6				4	6
10	コウチュウ	35	204	1	9	2	36	215
11	ハチ	15	85		2		15	87
12	ハエ	16	61	1	1		17	62
13	チョウ	27	139	1	6	4	28	149
	合計	161	698	3	22	7	164	727

表Ⅳ-2-6 大規模緑地・小規模緑地以外での確認種一覧

目名	科名	種名	確認場所	備考
バッタ	キリギリス	ヤブキリ	石神井図書館周辺	
コウチュウ	コガネムシ	クロカナブン	南田中憩いの森	都RL:EN
	カミキリムシ	タケトラカミキリ	南田中	都RL:NT
チョウ	スズメガ	ホシヒメホウジャク	下石神井6丁目	
		コスズメ	石神井台	
	シャチホコガ	シャチホコガ	石神井台	
	ヤガ	ナカグロクチバ	石神井台	
3	6	7		

表IV-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（1/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国R L	都R L・区部	外来種
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	区立びくに公園				
トンボ	イトトンボ	クロイトトンボ	**				●	●			●		4			
		キイトトンボ	○										1		EN	
		アジアイトンボ	●				●					●	3			
		アオモンイトトンボ					●						1			
	アオイトトンボ	アオイトトンボ	●										1			
		オオアオイトトンボ	●				●	○					3			
	モノサシトンボ	モノサシトンボ					●	●					2			
	カワトンボ	ハグロトンボ			●						○	○	2		VU	
	オニヤンマ	オニヤンマ	●								○		2		NT	
	ヤンマ	アオヤンマ					●						1		EN	
		マルタンヤンマ					●						1			
		クロスジギンヤンマ	●	●			●						3			
		ギンヤンマ	●				●	●					3			
	サナエトンボ	ヤブヤンマ	**				●						2			
		ウチフヤンマ	**				●	●					3			
	エソトンボ	オオヤマトンボ	**				●	●					3			
	トンボ	ショウジョウトンボ	●				●	●					2			
		コフキトンボ	**				●						2			
		ヨツボシトンボ	●										1		EN	
		シオカラトンボ	●	●			●	●	●	●		●	7			
		シオヤトンボ					●						1		VU	
		オオシオカラトンボ	●		●	●	●	●	●	●	●		7			
		ウスバキトンボ	●	●	●		●	●	●	●		●	7			
		コシアキトンボ	●		●		●	●	○		●		6			
		チョウトンボ	●			●	●						3		NT	
		コノシメトンボ	**	●			●		●				5			
		ナツアカネ	●	●	●	●	●		●	●	●		7			
		マユタテアカネ	●				●						2			
		アキアカネ	●				●	●				●	5			
		ノシメトンボ	●	●		●	●		●				5			
		マイコアカネ	●				●			●	●		4		NT	
		ミヤマアカネ	**										1		VU	
		リスアカネ	**										1		NT	
ネキトンボ		○										1				
ゴキブリ		クロゴキブリ						●					1			◆
		チャバネゴキブリ							●				1			
カマキリ	カマキリ	●		●		●	●		●	●		6				
	ハラビロカマキリ	●				●	●		●	●	●	5				
	コカマキリ	●				●	●		●	●	●	6				
オオカマキリ	●			●	●	●	●	●			6					
シロアリ	ミゾガシラシロアリ	●		●	●	●		●			5					
バッタ	カマドウマ	マダラカマドウマ	●									1				
		クラズミウマ				○	●					2				
	キリギリス	ヒメギス	●			●							2			
		ヒメクサキリ					●						1			
		シブイロカヤキリ	●										1		DD	
		クビキリギス	●	○	●	●	●	○				●	7			
		ホシササキリ	●										1			
		ウスイロササキリ	●	●	●							●	4			
		ササキリ					●						1			
		ハヤシノウマオイ	●				●						2			
	ツユムシ	ツユムシ		●								●	2			
		セスジツユムシ	●		●		●	●		●			5			
		ヒメクダマキモドキ	○										1			
		サトクダマキモドキ	●		●	●					●		4			
	コオロギ	エンマコオロギ	●	●			●					●	4			
		タンボコオロギ					●						1		DD	
		モリオカメコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9			
		ハラオカメコオロギ	●				●					●	2			
		ツツレサセコオロギ	●		●	●	●	●	●	●	●	●	8			
	マツムシ	アオマツムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9			◆
		スズムシ	●				●						2			
		カンタン	●	●			●						3			
	ヒバリモドキ	ヒゲシロスズ	●			●				●			3		DD	
		シバスズ	●	●	●		●		●		●		6			
		マダラスズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9			
		ヤチスズ	●				●						2		DD	
		キンヒバリ	●				●						2		DD	
		ヤマトヒバリ	●				●	●					3			
		クサヒバリ	●			●							2			
		ウスグモスズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		8			
	カナタタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9				
	アリツカコオロギ				●			●				2				
	ノミバッタ					●	●		●			3				
ヒシバッタ	トゲヒシバッタ	●										1				
	ハラヒシバッタ	●	●	●		●	●	●	●	●		8				
オンブバッタ	オンブバッタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
バッタ	ツチイナゴ	●				●						1				
	コバネイナゴ	●				●	●			●	●	5				

表Ⅳ-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（2/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国 R L	都 R L ・ 区 部	外 来 種
			都立 光が 丘公 園	都立 城北 中央 公園	武蔵 学園	豊島 園	都立 石神 井公 園	区立 武蔵 関公 園	都立 大泉 中央 公園	稲荷 山・ 清水 山憩 いの 森	八の 釜憩 いの 森	区立 びく に公 園				
バッタ	バッタ	ショウリョウバッタ	●	●	●		●		●	●	●	●	8			
		ショウリョウバッタモドキ	●									●	2		VU	
		ツマグロバッタ	○										1		DD	
		トノサマバッタ										○	1			
		クルマバッタモドキ		●			●						2			
		イボバッタ	●	○								●	3			
ナナフシ	ナナフシ	ナナフシモドキ	●		●	●	●					4				
ハサミムシ	ハサミムシ	ハマベハサミムシ		●					●		●	3				
		キアシハサミムシ	●	●							●	3				
		ヒゲジロハサミムシ	●	●	●	●	●	●	●	●		8				
カメムシ	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ									●	1				
	ウンカ	ホソドリウンカ				●						1				
		テラウチウンカ					●					1				
		タケウンカ					●					1				
		コブウンカ	●									●	2			
	シマウンカ	シマウンカ	●									1				
	ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ	●									1				
	テングスケバ	ツマグロスケバ					●					1				
	ゲンバイウンカ	タテスジゲンバイウンカ	●										1			
		ミドリゲンバイウンカ		●			●	●	●		●		5			
	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	●		●	●	●	●	●	●	●	8				
	ハゴロモ	スケバハゴロモ	●				●	●	●	●	●	4				
		ベッコウハゴロモ	●				●	●	●	●	●	7				
		アミガサハゴロモ	●		●						●	3				
	セミ	クマゼミ	●				●		●	●	●	4				
		アブラゼミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		ツクツクボウシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		ミンミンゼミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		ニイニゼミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		ヒグラシ					●				●	2		NT		
	トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ								●		1				
	アワフキムシ	シロオビアワフキ					●					1				
		ハマベアワフキ	●									●	2			
	ミミズク	ミミズク				●							1			
		コミミズク					●				●		2			
	クロヒラタヨコバイ	クロヒラタヨコバイ	●			●	●		●			4				
	オオヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10			
オオヨコバイ		●				●					●	3				
マエジロオオヨコバイ		●				●		●				3				
ヒメヨコバイ	キウイヒメヨコバイ					●					1					
ヨコバイ	ベニスジトガリヨコバイ	●									1					
キジラミ	クワキジラミ					●	●			●	●	4				
	ヤツデキジラミ	●		●	●	●		●		●	●	7				
	シマアメンボ									●	●	2		NT		
アメンボ	コセアカアメンボ									●	●	1				
	ヤスマツアメンボ									●	●	1				
	ヒメアメンボ	●				●	●			●	●	6				
	オオアメンボ			●		●				●	●	3		CR		
	アメンボ	●		●	●	●	●			●	●	6				
	エサキアメンボ					●						1	NT	DD		
カスミカメムシ	ナカグロカスミカメ	●									●	2				
	ズアカシダカスミカメ	●						●				3				
	ゲンバイカスミカメ							●				1				
	アカヒゲホソドリカスミカメムシ	●	●								●	3				
マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ	●	●								●	3				
	アシフトマキバサシガメ									●		1				
ゲンバイムシ	ヤブガラシゲンバイ		●			●	●			●	●	4				
	ナシゲンバイ		●							●		2				
	ツツジゲンバイ	●	●			●	●			●	●	7				
	トサカゲンバイ				●							1				
	ヒメゲンバイ									●		1				
	プラタナスゲンバイ	●	●			●	●					3			◆	
	アワダチソウゲンバイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10			◆	
サシガメ	ヨコツナサシガメ		●	○		●		●	●			5			◆	
	シマサシガメ					●						1				
	ヤニサシガメ					●	●					2				
	アカシマサシガメ					●						1				
イトカメムシ	ヒメイトカメムシ		●			●						2				
	イトカメムシ	●		●		●	●	●				6				
ナガカメムシ	ジュウジナガカメムシ	●										1				
	ヒメナガカメムシ	●	●	●	●	●					●	7				
	ヒメコバネナガカメムシ									●		1				
	コバネナガカメムシ					●	●					2				
	ホソコバネナガカメムシ					●						1				
	ヒメオオメカメムシ	●	●								●	3				
	オオメカメムシ	●		●				●				3				
	ヒゲナガカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6					

表IV-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（3/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		外来種		
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国	都			
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	区立びくに公園		区	区		部	
カメムシ	ナガカメムシ	オオモンシロナガカメムシ	●		●	●							3					
		モンシロナガカメムシ		●									1					
		シロヘリナガカメムシ	●										1					
		コバネヒョウタンナガカメムシ	●	●							●		3					
カメムシ	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	●			●	●				●		5					
	ホシカメムシ	クロホシカメムシ										●	1					
	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	●		●	●					●	○	5					
	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	●	●	●									3				
		ホソヘリカメムシ	●	●	●	●								6				
		ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	●				●	●				●	4				
	ヘリカメムシ	オオクモヘリカメムシ	●				●					●	●	3				
		ホソハリカメムシ	●	●	●		●				●	●	●	7				
		ハリカメムシ	●	●	●	●	●	●			●	●		8				
		ホシハラビロヘリカメムシ	●		●	●					●			5				
		ツマキヘリカメムシ	●		●	●		●					●	4				
		ミナミトゲヘリカメムシ			●	●								2				
		キバラヘリカメムシ										●		1				
		ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	●	●	●									3			
			アカヒメヘリカメムシ	●	●	●			●					●	5			
			ブチヒゲヘリカメムシ	●										●	2			
	マルカメムシ	マルカメムシ	●		●	●	●	●			●		6					
	ツチカメムシ	ヨコツナツチカメムシ	●											1				
		マルツチカメムシ	●										●	3				
		ヒメツヤツチカメムシ										●		1				
		ヒメツチカメムシ		●										1				
		ツチカメムシ	●	●							●	●		4				
		ミツボシツチカメムシ	●								●			2				
		キンカメムシ	アカスジキンカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		8				
	ノコギリカメムシ	ノコギリカメムシ	●				●	●					3					
	カメムシ	アカスジカメムシ	●								●			1				
		オオクロカメムシ					●	●						2				
		ヒメクロカメムシ											●	1				
		ウズラカメムシ	●	●			●	●					●	5				
		ウシカメムシ				●					●			2				
		ブチヒゲカメムシ	●	●										2				
		ナガメ	●	●		●		●						4				
トゲシラホシカメムシ		●										●	2					
ムラサキシラホシカメムシ		●			●	●	●	●	●	●	●		7					
クサギカメムシ		●				●	●	●	●				4					
ミヤマカメムシ										●			1					
ナカボシカメムシ							●						1					
アオクサカメムシ												●	1					
チャバネアオカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9					
ツヤアオカメムシ								○					1					
エビイロカメムシ		●											1					
ツノカメムシ		セアカツノカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		4					
		エサキモンキツノカメムシ	●		●	●	●	●	●	●	●		8					
アミメカゲロウ		ラクダムシ	●											1				
		ヒメカゲロウ	●					●				●		3				
	クサカゲロウ	●											1					
	クサカゲロウ	●											1					
	ウスバカゲロウ	ホシウスバカゲロウ							○					1				
		ウスバカゲロウ	●		●						●			3				
コウチュウ	ナガヒラタムシ	●			●								1					
	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9				
		コハンミョウ	●	●										1		NT		
	オサムシ	アオオサムシ	●				●	●	●	●	●			5				
		チビヒョウタンゴミムシ	●	●										1				
		メダカチビカワゴミムシ	●	●						●	●			5				
		オオゴミムシ	●											1				
		セアカヒラタゴミムシ	●											1				
		マルガタゴミムシ	●	●					●	●	●	●		6				
		ナガマルガタゴミムシ	●											1				
		ヒメゴミムシ	●									●		2				
		ヒメケゴモクムシ		●								●		2				
		アカアシマルガタゴモクムシ								●				1				
		ミドリマメゴモクムシ									●			1				
		イツホシマメゴモクムシ		●										1				
		マルヒメゴモクムシ					●			●				2				
		アトワアオゴミムシ									●			1				
		トゲアトクリゴミムシ	●											1				
		ハギキノコゴミムシ			●									1				
		ジュウジアトクリゴミムシ					●							1				
		コルリアトクリゴミムシ	●	●										2			◆	
	ミズギワアトクリゴミムシ		●										1					
	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ											●	1				
		ハイロゲンゴロウ											●	1				
	エンマムシ	コエンマムシ	●				●		●	●			4					

表IV-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（4/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		外来種		
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国	都			
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	区立びくに公園		R	R・区部			
コウチュウ	タマキノコムシ	セマルタマキノコムシ								●			1					
	シテムシ	オオヒラタシテムシ	●	●			●		●	●	●		6					
	ハネカクシ	アカニセセミソハネカクシ									●			1				
		キンボシハネカクシ	●											1		VU		
		ヨコモトガリハネカクシ	●											1				
		アオバアリガタハネカクシ											●	1				
	ハネカクシ	クロヒメカワベハネカクシ		●									1					
	マルハナノミ	キムネマルハナノミ					●						1					
	クワガタムシ	コクワガタ	●		●	●	●				●	●		6				
		ヒラタクワガタ	●			●						●	●	3		VU		
	センチョコガネ	センチョコガネ	●				●				●	●		4				
	コガネムシ	ツヤエンマコガネ		●								●		2				
		ナガチャコガネ	●											1				
		クロコガネ	●		●									2				
		コフキコガネ	●	●	●		●	●			●	●		7				
		ピロウドコガネ	●											1				
		コイチャコガネ					●							1				
		アオドウガネ		●		●	●		●				●		5			
		ドウガネフイフイ	●				●	●	●						4			
		ヤマトアオドウガネ				○												
		セマダラコガネ	●	●			●					●			4			
		マメコガネ	●	●			●	●	●	●	●	●	●		8			
		ヒラタハナムグリ	●			●					●	●			4			
		ヒメトラハナムグリ				●			●		●				3		EN	
		コアオハナムグリ	●	●			●	●	●	●	●	●			6			
		シロテンハナムグリ	●				●	●	●	●	●	●			6			
		カナブン	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		8			
	カブトムシ	●		●		●				●	●			5				
	タマムシ	ウバタマムシ						○								CR		
		ムツボシタマムシ			●									1				
		ヤマトタマムシ	●				●				●			3		NT		
		ヒシモンナガタマムシ										●		1				
		クズノチビタマムシ	●		●	●		●			●			5				
		コウゾチビタマムシ	●											1				
		ドウイロチビタマムシ	●											1				
		ナミガタチビタマムシ			●							●			2			
		マルガタチビタマムシ	●												1			
		ヤノナミガタチビタマムシ										●			1			
		コメツクムシ	ヒゲコメツク						●						1			
	マダラチビコメツク			●							●	●	●	3				
	サビキコリ		●	●		●	●		●		●	●	●	8				
	トラフコメツク											●		1				
	ナガヒゲフトコメツク							●						1				
	カツオブシムシ	●	●	●	●					●			5					
	ジョウカイモドキ	●											1					
	ヒョウホムシ	ケジロヒョウホムシ								●				1				
	ケシクスイ	クロハナケシクスイ	●											1				
		カタベニデオクスイ									●			1				
		ナガコゲチャケシクスイ						●						1				
		ナミモンコケシクスイ						●						1				
		ヨツボシケシクスイ	●				●				●	●		4				
	ホソヒラタムシ	ミツモンセマルヒラタムシ	●	●										2				
		テントウダマシ	●		●							●		3				
		テントウムシ	オシマヒメテントウ									●			1			
			アトホシヒメテントウ									●			1			
			コクロヒメテントウ									●		●	3			
			ヒメアカホシテントウ	●		●				●					3			
			ヨツボシテントウ									●			1			
			カメノコテントウ						○				○		2			
			シロジュウシホシテントウ						●						1			
			ムーアシロホシテントウ	●		●	●	●	●	●	●	●	●		8			
	ナナホシテントウ		●		●		●		●				●	4				
	ナミテントウ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9				
	ジュウサンホシテントウ	ジュウサンホシテントウ											●	1				
		キヨロテントウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9				
		ダンダラテントウ	●	●	●		●	●	●	●	●	●		8				
		ウスキホシテントウ						●			●			2				
		ヒメカメノコテントウ	●	●		●	●	●	●	●	●	●		8				
		クモガタテントウ			●	●					●			3			◆	
		トホシテントウ	●	●		●	●	●	●	●	●	●		7				
		オオニジュウヤホシテントウ									●	●		2				
		ヒメマキムシ	クロオビケシマキムシ	●										1				
		ホソカタムシ	ベニモンヒメヒラタホソカタムシ									●		1				
	コキノコムシ	ヒレルコキノコムシ					●						1					
	ナガクチキムシ	クロホソナガクチキ					●						1					
	カミキリモドキ	モモブトカミキリモドキ	●											1				
		カトウカミキリモドキ					●							1				
	アリモドキ	アカホソアリモドキ					●				●			2				

表Ⅳ-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（5/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		外来種	
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国	都		
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	区立びくに公園		RL	RL・区部		
コウチュウ	アリモドキ	ホソクビアリモドキ					●					●	2				
		ヨツボシホソアリモドキ	●									●	2				
	ゴミムシダマシ	ハムシダマシ	ハムシダマシ	●	●	●	●	●	●	●	●		8				
		ヒゲトゴミムシダマシ	ヒゲトゴミムシダマシ									●	1				
		オオクチキムシ	オオクチキムシ					●					1				
		モンキゴミムシダマシ	モンキゴミムシダマシ	●				●					2				
		エグリゴミムシダマシ	エグリゴミムシダマシ	●								●	2				
		キマワリ	キマワリ					●				●	2				
		セスジナガキマワリ	セスジナガキマワリ		●							●	2				
	ゴミムシダマシ カミキリムシ	キマダラカミキリ	キマダラカミキリ			●							1				
		フタオビミドリトラカミキリ	フタオビミドリトラカミキリ						●				1				
		キスジトラカミキリ	キスジトラカミキリ	●									1		VU		
		ヒメクロトラカミキリ	ヒメクロトラカミキリ					●					1				
		カタシロゴマフカミキリ	カタシロゴマフカミキリ	●	●					●			4				
		ナガゴマフカミキリ	ナガゴマフカミキリ	●		●	●	●	●	●	●		6				
		カノコサビカミキリ	カノコサビカミキリ							●			1				
		シナノクロフカミキリ	シナノクロフカミキリ	●									1				
		ヒシカミキリ	ヒシカミキリ								●		1				
		ニイジマチビカミキリ	ニイジマチビカミキリ							●			1				
		アトモンサビカミキリ	アトモンサビカミキリ								●		1				
		アトジロサビカミキリ	アトジロサビカミキリ	●									1				
		センノカミキリ	センノカミキリ			●						●	2		VU		
		クワカミキリ	クワカミキリ	●								●	2				
		シラオビゴマフケンカミキリ	シラオビゴマフケンカミキリ	●									1				
		ラミーカミキリ	ラミーカミキリ	●									1			◆	
		キクスイカミキリ	キクスイカミキリ	●		●	●	●				●	5				
		ハムシ	アズキマメゾウムシ	アズキマメゾウムシ	●									1			
			ケバクビボソハムシ	ケバクビボソハムシ	●			●	●		●			4			
			キバラリクビボソハムシ	キバラリクビボソハムシ	●	●		●	●	●	●			6			
			アカビボソハムシ	アカビボソハムシ	●				●	●	●			3			
			キイロクビナガハムシ	キイロクビナガハムシ					●		●			2			
			ムナキルリハムシ	ムナキルリハムシ	●									1			
	タテスジキツツハムシ		タテスジキツツハムシ					●					1				
	カシワツツハムシ		カシワツツハムシ			●							1				
	クロボシツツハムシ		クロボシツツハムシ	●									1				
	アオバナサルハムシ		アオバナサルハムシ	●	●							●	3				
	イモサルハムシ		イモサルハムシ	●	●			●					3				
	コフキササルハムシ		コフキササルハムシ					●					1				
	ニホンケブカサルハムシ		ニホンケブカサルハムシ	●				●			●		3				
	ヒメキバナサルハムシ		ヒメキバナサルハムシ	●								●	2				
	ドウガネサルハムシ		ドウガネサルハムシ	●	●		●	●		●	●	●	6				
	トビサルハムシ		トビサルハムシ					●					1				
	ヨモギハムシ		ヨモギハムシ		●								1				
	ハツカハムシ		ハツカハムシ					●					1			DD	
	コガタリハムシ		コガタリハムシ		●			●	●				3				
	トホシハムシ		トホシハムシ									●	1				
	ヤツボシハムシ		ヤツボシハムシ								●		1				
	フジハムシ		フジハムシ							●			1				
	ダイコンハムシ		ダイコンハムシ						●				1				
	ハンノキハムシ		ハンノキハムシ						●				1				
	ウリハムシモドキ		ウリハムシモドキ	●	●			●		●		●	5				
	ウリハムシ		ウリハムシ	●	●			●		●	●	●	6				
	クロウリハムシ		クロウリハムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10				
	クワハムシ		クワハムシ	●				●				●	3				
	ホタルハムシ		ホタルハムシ		●								1				
	アトボシハムシ		アトボシハムシ	●									1				
	サンゴジュハムシ		サンゴジュハムシ			●	●						2				
	エノキハムシ		エノキハムシ			●		●		●	●		4				
	アヤメツブミハムシ		アヤメツブミハムシ							●			1				
	テントウミハムシ		テントウミハムシ		●	●	●		●	●	●		7				
	オオアカマルノミハムシ		オオアカマルノミハムシ					●					1				
	コマルノミハムシ		コマルノミハムシ					●		●		●	4				
	チャバナツヤハムシ		チャバナツヤハムシ	●									1				
	クロトゲハムシ		クロトゲハムシ	●									1				
	イノコヅチカメノコハムシ		イノコヅチカメノコハムシ	●				●	●	●	●		5				
	カメノコハムシ		カメノコハムシ		●								1				
	ヒメカメノコハムシ		ヒメカメノコハムシ		●								1				
	イチモンジカメノコハムシ		イチモンジカメノコハムシ					●					1				
	ブタクサハムシ		ブタクサハムシ	●		●				●		●	4			◆	
	ヒゲナガゾウムシ オトシブミ		カオジロヒゲナガゾウムシ	カオジロヒゲナガゾウムシ			●		●		●		3				
			ヒメクロオトシブミ	ヒメクロオトシブミ					●				1				
			カシルリオトシブミ	カシルリオトシブミ	●								1				
			クロケシツブチョッキリ	クロケシツブチョッキリ	●								1				
		ブドウハマキチョッキリ	ブドウハマキチョッキリ	●								1					
		ファウストハマキチョッキリ	ファウストハマキチョッキリ					●				1					
		クチナガチョッキリ	クチナガチョッキリ							●		1					
	ハイイロチョッキリ	ハイイロチョッキリ									1						
	ゾウムシ	ツチイロヒゲボソゾウムシ	●									1					

表IV-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（6/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種					
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国 R L	都 R L・区部	外来種			
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	区立びくに公園							
コウチュウ	ゾウムシ	カシワクチフトゾウムシ									●			1					
		クロホシクチフトゾウムシ									●				1				
		ツンフトクチフトゾウムシ			●		●					●			3				
		チビヒョウタンゾウムシ	●									●			2				
		ヒレルクチフトゾウムシ										●			1				
		ホソヒメカタゾウムシ			●										1				
		スグリゾウムシ	●	●	●		●	●	●		●				7				
		サビヒョウタンゾウムシ	●												1				
		コフキゾウムシ	●					●							2				
		ヤサイゾウムシ	●							●					2				
		カツオゾウムシ					●								1				
		オジロアシナガゾウムシ							●			●			2				
		イネミズゾウムシ	●												1				
		カシワノミゾウムシ											●		1				
		イチゴハナゾウムシ	●												1				
		ジュウジチビシギゾウムシ										●			1				
		ヤノシギゾウムシ										●			1				
		サメハダヒメゾウムシ										●			1				
		マルメサルゾウムシ											●		1				
		ツツジトゲムネサルゾウムシ										●			1				
		ダイコンサルゾウムシ										●			1				
		オサゾウムシ	トホシオサゾウムシ	●						●					2				
			コクゾウムシ												1				
		ハチ	ミフシハバチ	ニホンチュウレンジ			●									1			
				チュウレンジバチ	●											1			
				ルリチュウレンジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9			
			コンボウハバチ	ホシアシフトハバチ									●			1			
ハバチ	ハグロハバチ												●		1				
	セグロカブラハバチ						●				●			2					
	ニホンカブラハバチ										●			1					
	ヒゲナガハバチ		●											1					
	チャイロハバチ						●							1					
	シモツケマルハバチ										○			1					
	アシフトコバチ		キアシフトコバチ									●		1					
アリバチ	トゲムネアリバチ					●								1					
ツチバチ	キオビツチバチ		●	●		●	●		●	●	●	●		7					
	ヒメハラナガツチバチ		●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	8					
アリ	キンケハラナガツチバチ		●		●				●	●	●			3					
	オオハリアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
	テラニシリアゲアリ					●	●	●	●	●	●	●		4					
	ハリフトシリアゲアリ		●		●	●	●	●	●	●	●	●		7					
	キイロシリアゲアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9					
	ムネボソアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9					
	クロナガアリ		●	●			●					●		5					
	ヒメアリ				●							●		2					
	キイロヒメアリ											●		1					
	コソノアリ											●		1					
	ヒラタウロコアリ		●											1					
	アズマオオズアリ		●		●	●	●		●	●	●	●	●	6					
	アミアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
	イガウロコアリ											●		1					
	ウロコアリ		●			●	●			●	●			5					
	トビイロシワアリ		●	●	●	●	●			●	●		●	8					
	トカラウロコアリ			●										1					
	ウメマツアリ				●		●	●	●	●	●	●		5					
	ルリアリ							●						1					
	ヒラフシアリ											●		1					
	クロオオアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
	ヒラズオオアリ		●											1					
	イトウオオアリ						●							1					
	ウメマツオオアリ		●			●		●						3					
	ヨツボシオオアリ		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	8					
	クロヤマアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
	ハヤシクロヤマアリ							●						1					
	クロクサアリ					●	●	●		●	●	●	●	5					
	トビイロケアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
	アメイロアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10					
	サクラアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8					
	サムライアリ			●										1					
	ベッコウバチ		オオモンクロベッコウ	●				●	●			●		4					
			オオシロベッコウ		●									1					
	ドロバチ		オオフトオビドロバチ	●	●			●	●			●	●	6					
			ミカドツクリバチ	●				●	●			●		4					
			ムモントツクリバチ	●										1					
			スズバチ	●			●	●					●	4					
	スズメバチ		ムモンソアシナガバチ	●							●	●		3					
			セグロアシナガバチ	●	●			●						3					
			キボシアシナガバチ	●								●		2					

表Ⅳ-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（7/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV			確認箇所数	重要種		外来種	
			①	②	①	②	①	②	①	②	③		④	国 R L		都 R L・区部
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森		区立びくに公園			
ハチ	スズメバチ	キアシナガバチ					●			●		2				
		コアシナガバチ	●	●			●					3				
		コガタスズメバチ	●	●	●		●	●	●	●	●	9				
		モンズズメバチ					●	●				2				
		オオスズメバチ	●			●	●	●	●	●		7				
		キロスズメバチ					●					1				
		ヒメスズメバチ	●		●	●	●	●		●		6				
		クロスズメバチ	●		●	●	●	●		●		6				
	アナバチ	セナガアナバチ			●							1				
		クロアナバチ	●				●		●			3				
		クロアナバチ	●	●			●		●	●	●	6				
		サトジガバチ	●									1				
	アナバチ	ミカドジガバチ							●			1				
		シロスジギングチ	●									1				
		ニッポンツチスガリ			●							1				
	コハナバチ	アカガネコハナバチ	●	●			●		●	●	●	6				
		アオスジハナバチ		●								1				
	ハキリバチ	オオハキリバチ	●									1				
		ヤトガリハナバチ	●					●	●			3				
		クズハキリバチ								●		1				
		ムナカタハキリバチ		●		●	●				●	4				
	コシブトハナバチ	ギンランキマダラハナバチ								●		1				
		ダイミョウキマダラハナバチ	●							●		2				
		ニッポンヒゲナガハナバチ	●		●							2				
		ルリモンハナバチ	●									1				
		クマバチ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
	ミツバチ	トラマルハナバチ					●		●			2				
		コマルハナバチ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8				
		ニホンミツバチ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		セイヨウミツバチ	●	●	●		●		●	●	●	8			◆	
	ハエ	ガガンボ	ベッコウガガンボ					●	●			2				
			エソソコガガンボ	●	●		●	●	●	●		6				
			<i>Nephrotoma flavonota</i>	●				●	●				3			
			キイロソコガガンボ		●				●				2			
			マエキガガンボ					●		●			2			
			ヤチガガンボ		●	●	●	●	●		●		6			
			キリウジガガンボ	●			●		●				3			
			マドガガンボ				●		●				2			
			ケバエ	ハグロケバエ	●		●		●		●		4			
			ミズアブ	キアシソルリミズアブ					●		●			2		
ハラキンミズアブ		●		●			●					3				
アメリカミズアブ		●				●	●			●		5			◆	
ネグロミズアブ		●			●		●		●			4				
ムシヒキアブ		アオメアブ	●	●			●		●		●	5				
		シオヤアブ	●	●		●	●	●	●			6				
		マガリケムシヒキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
アシナガバエ ハナアブ		マダラアシナガバエ	●				●		●	●	●	5				
		ホソヒメヒラタアブ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10				
		キタヒメヒラタアブ	●	●	●	●	●		●		●	6				
		クロヒラタアブ	●	●	●	●						4				
		ハリヒラタアブ	●									1				
		ヨコジマオオヒラタアブ			●		●		●			3				
		ホソヒラタアブ	●	●	●	●	●	●	●	●		9				
		ナミホシヒラタアブ	●		●				●			3				
		ツマグロコシボソハナアブ			●							1				
		マダラコシボソハナアブ			●		●		●			4				
		キアシマヒラタアブ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		スズキフタモンハナアブ							●			1				
		クロベッコウハナアブ	●		●							3				
		スイセンハナアブ	●	●			●		●			4			◆	
		キゴシハナアブ		●	●							2				
		シマハナアブ		●		●		●				4				
		ナミハナアブ							●	●	●	2				
		キヒゲアシフトハナアブ					●					1				
		アシフトハナアブ	●		●	●	●	●	●	●		6				
		タカサゴハラフトハナアブ				●	●					2				
シマアシフトハナアブ		●				●					2					
オオハナアブ			●								1					
ツヤホソバエ		ヒトテンツヤホソバエ	●						●			2				
		オスアカツヤホソバエ		●								1				
フトモモソバエ	クロフトモモソバエ	●									1					
	ミスジミバエ	●	●	●		●	●	●	●		7					
ミバエ	タンポポハマダラミバエ					●	●	●	●		4					
	イヌビロハマダラミバエ					●		●			2					
	フチモンハマダラミバエ	●				●					2					
	ハルササハマダラミバエ	●				●			●		3					
	フトホヒゲハマダラミバエ								●		1					
	ノゲシケバカミバエ	●									1					

表IV-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（8/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		外来種	
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国 R L	都 R L・区部		
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山緑地の森	八の釜緑地の森	区立びく公園					
ハエ	ミバエ	ツマホシケブカミバエ	●										1				
	ヒロクチバエ	ダイズコンリュウバエ	●										1				
	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	●	●	●		●					●	5				
	ベッコウバエ	ベッコウバエ	●				●				●		3				
	フンバエ	ヒメフンバエ	●		●		●						3				
	イエバエ	カガハナゲバエ	●		●	●	●	●	●	●			7				
	クロバエ	オオクロバエ									●			1			
		キンバエ					●							2			
		ミヤマキンバエ					●							1			
		ホホグロオビキンバエ					●							1			
		ツマグロキンバエ	●	●	●		●		●	●	●	●		8			
	ニクバエ	シリグロニクバエ	●		●									2			
ゲンロクニクバエ		●		●		●							2				
チョウ	マガリガ	クロハネシロヒゲナガ	●										1				
		ホソオビヒゲナガ	●		●	●	●	●		●	●		7				
	ハマキガ	アトキハマキ						○				●		1			
		ピロードハマキ						●						1			
	ミノガ	オオミノガ					○						1				
	ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ			○		○						2				
	スカシバガ	コスカシバ					○						1				
	マダラガ	ホタルガ					●		●	●				3			
		タケノホソクロバ	●											1			
		ミノウスバ					○							1			
	マドガ	マダラマドガ	●										1				
	メイガ	シロツトガ	●											1			
		シロスジツトガ	●	●	●									2			
		オオキノメイガ	●											1			
		アカウスグロノメイガ					●							1			
		モンウスグロノメイガ									●			1			
		コブノメイガ	●											1			
		キアヤヒメノメイガ	●											1			
		アヤナミノメイガ						●						1			
		ツゲノメイガ			●									1			
		スカシノメイガ			●									1			
		ヨツボシノメイガ	●					●		●				3			
		シロマダラノメイガ						●						1			
		モンキクロノメイガ	●			●				●				3			
		マエキノメイガ					●	●						2			
		シロオビノメイガ	●	●	●		●	●	●	●	●	●		8			
		ミツテンノメイガ									●			1			
		マメノメイガ	●					●						2			
		ワタノメイガ	●	●										2			
		フキノメイガ	●					●						2			
ヨスジノメイガ										●			1				
マエアカスカシノメイガ	●					●	●					3					
キムジノメイガ					●							1					
タテシマノメイガ	●											1					
セセリチョウ	ダイミョウセセリ	●				●		●	●	●			5				
	チャバネセセリ	●	●	●		●		●	●	●			5				
	キマダラセセリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			8				
	イチモンジセセリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			9				
アゲハチョウ	ジャコウアゲハ	○		●		●		●	●	●			3				
	アオスジアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		10				
	カラスアゲハ	●		●		●		●	●	●			5				
	キアゲハ	●	●	●		●		●	●	●			6				
	オナガアゲハ					●							1		CR		
	ナガサキアゲハ	●	●	●		●	●	●	●	●	●		9				
	クロアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			9				
	ナミアゲハ	●	●	●		●	●	○	●	●	●		9				
シロチョウ	ツマキチョウ	○								●			2				
	モンキチョウ	●	●			●		●	●	●			5				
	キチョウ	●	●		●	●	●	●	●	●			8				
	スジグロシロチョウ	●	●			●	●	●	●	●			9				
	モンシロチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			10				
シジミチョウ	ミスイロオナガシジミ					●							1		*		
	ルリシジミ				●				●				2				
	ツバメシジミ	●	●								●		3				
	ウラナミシジミ		●			●							2				
	ベニシジミ	●	●			●		●		●	●		6				
	ムラサキツバメ							●					2				
	ムラサキシジミ	●		○	●	●	●	○	●	●			8				
	ミドリシジミ					●							1		DD		
	ヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		10				
ウラギンシジミ	●		●	●	●	●	○	●	●			8					
テングチョウ					●							1					
マダラチョウ					●							1					
タテハチョウ					●	●						3		*			
						○						1					

表IV-2-4 昆虫類の確認種一覧（大規模緑地）（9/9）

目名	科名	種名	I		II		III		IV				確認箇所数	重要種		外来種
			①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		国 R L	都 R L・区部	
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	武蔵学園	豊島園	都立石神井公園	区立武蔵関公園	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	区立びくに公園				
チョウ	タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10			
		ヒメアカタテハ	●	●			●	●				●	4			
		アカボシゴマダラ	●	●		●	●	●		●	●		7			注
		ゴマダラチョウ	●			○	●	○	○	●			6			
		ルリタテハ	●				●			●	●		4			
		イチモンジチョウ					●						1			DD
		コムシジ	●	○	●	●	●	●	●	●	●		9			
	ジャノメチョウ	キタテハ	○				●						2			
		ヒカゲチョウ	●				●	●		●	●		5			
		クロノマチョウ	●		○		○						3			
		ヒメジャノメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		9			
	カギバガ	サトキマダラヒカゲ	●	○	●	●	●	●	●	●	●		9			
		ヤマトカギバ									●		1			
シャクガ	ナミスジコアオシヤク					●						1				
	フトベニスジヒメシヤク	●										1				
	ウスベニスジヒメシヤク				●							1				
	ベニスジヒメシヤク	●										1				
	オオハガタナミシヤク	●										1				
	アトスジクロナミシヤク					●						1				
	ウスミドリナミシヤク		●									1				
	ネグロウスベニナミシヤク								●			1				
	ユウマダラエダシヤク						○					1				
	フタテンオエダシヤク									●		1				
	ウメエダシヤク					●	●		●	●		4				
	ヒロオビトンボエダシヤク				●							1				
	オオトビスジエダシヤク								●			1				
	ウスバミスジエダシヤク					●						1				
	ハミスジエダシヤク									●		1				
	シャンハイオエダシヤク					●						1				
	マエキトビエダシヤク					●						1				
	ウスキツバメエダシヤク					●						1				
	ウスアオエダシヤク					●						1				
	ツマキリウスキエダシヤク								●			1				
クロハグルマエダシヤク	●										1					
ツバメガ	ギンツバメ								●			1				
カイコガ	クワコ						●					1				
ヤママユガ	オオミズアオ	●				●	●					3			VU	
スズメガ	ウンモンズズメ	●										1				
	サザナミスズメ	●										1				
	クチバスズメ	●										1				
	シモフリスズメ		○				○					2				
	オオスカシバ	●	●	●	●	●					●	6				
	ホシホウジャク				●	●			●			3				
	キイロスズメ						○					1				
シャチホコガ	ツマキシヤチホコ					○	●					2				
	モンクロシャチホコ					●			●	○		3				
ヒトリガ	ハガタキコケガ						●					1				
	スジベニコケガ						●					1				
カノコガ	キハラゴマダラヒトリ	●		●		●	●					4				
	カノコガ		●	●		●			●			4				
ヤガ	リンゴケンモン						●					1				
	ツメクサガ	●										1				
	オオカブラヤガ	●										1				
	コキマエヤガ					●						1				
	オオシマカラスヨトウ								●			1				
	ネスジシラクモヨトウ	●										1				
	チャオビヨトウ	●										1				
	シロスジアオヨトウ					●						1				
	キノカワガ								●			1				
	シマフコヤガ	●										1				
	ヒメネジロコヤガ								●			1				
	ウスシロフコヤガ	●				●				●		3				
	フタガリコヤガ		○									1				
	ウリキンウワバ								●			1				
	キクキンウワバ								●			1				
	フクラスズメ	●										1				
	コシロシタバ					●			●			2				
	オオウンモンクチバ	●										1				
	オオアカキリバ			●	●							2				
	リンゴツマキリアツバ					●						1				
	ミツボシツマキリアツバ	●				○						2				
	タイウンキシタアツバ						●					1				
	ソトウスグロアツバ					●			●			2				
	トラガ	トビイロトラガ						●					1			

種名および並びは日本産野生生物目録-本邦産野生動物種の現状-環境省編 無脊椎動物編Ⅱなどに準拠している。

●: 通常調査での確認 ○: 補足調査での確認 \*\*: 光が丘公園バードサンクチュアリでの記録

外来種欄 注: 要注意外来生物

表Ⅳ-2-5 昆虫類の確認種一覧（小規模緑地など）（1/4）

目名	科名	種名	Ⅰ 北町・田柄 エリア				Ⅱ 豊玉・中村 エリア		
			Ⅰ ③	Ⅰ ④	Ⅰ ⑤	Ⅰ ⑧	Ⅱ ③	Ⅱ ④	Ⅱ ⑤
			どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
トンボ	アオイトトンボ カワトンボ ヤンマ トンボ	アオイトトンボ							
		カワトンボ							
		ヤンマ							
		トンボ				●			
		シオカラトンボ					●		
		オオシオカラトンボ					●		
		ウスバキトンボ		●		●			
		コシアキトンボ							
		コノシメトンボ	●				●		
		ナツアカネ	●	●	●		●		
		アキアカネ				●	●		
		ノシメトンボ			●				
		マイコアカネ					●		
ミヤマアカネ									
リスアカネ	●								
カマキリ	カマキリ	ハラビロカマキリ				●	●		
		コカマキリ				●		●	
		オオカマキリ				●			
バッタ	キリギリス	クビキリギリス		●		●			
		ホシササキリ							
		ウスイロササキリ							
		ツユムシ							
	コオロギ	エンマコオロギ				●			
		モリオカメコオロギ							
		ツツレサセコオロギ				●			
	マツムシ	アオマツムシ	●		●		●		
		クサヒバリ							
	ヒバリモドキ	ウスグモスズ							
		マダラスズ				●		●	
		シバズ							
		カネタタキ	●	●	●	●	●	●	
	ノミバッタ	ノミバッタ				●			
	ヒシバッタ	ハラヒシバッタ				●	●		
	オンブバッタ	オンブバッタ	●	●		●	●	●	
	バッタ	コバネイナゴ							
		ショウリョウバッタ		●		●			
		トノサマバッタ				●			
		クルマバッタモドキ				●			
イボバッタ			●			●			
ナナフシ	ナナフシ					●			
ハサミムシ	ハサミムシ		●			●			
カメムシ	テングスケバ	テングスケバ							
	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ			●	●	●	●	
	ハゴロモ	スケバハゴロモ							
		ペッコウハゴロモ				●			
		アミガサハゴロモ							
	セミ	クマゼミ					●		
		アブラゼミ	●	●	●	●	●	●	●
		ツクツクボウシ	●	●	●		●		●
ミンミンゼミ		●	●	●	●	●	●	●	

Ⅲ 石神井・関町エリア				Ⅳ 大泉・土支田エリア					ルート							確認箇所数	重要種		外来種
Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④	R⑤	R⑥	R⑦		国R L	都R L・区部	
															●	1			
															●	2	VU		
															●	1			
									●	●		●			●	5			
			●				●	●	●	●		●			●	6			
●	●		●			●	●	●	●			●			●	11			
	●														●	3			
		●					●					●				5			
		●										●				6			
●			●									●	●	●		7			
		●											●			3			
												●				2	NT		
															○	1	VU		
																1	NT		
		●			●		●					●	●			7			
		●														3			
●				●	●								●			4			
			●		●	●						●				6			
					●	●										1			
					●	●										2			
					●	●										1			
●					●	●										1			
●					●			●	●	●		●	●	●		9			
										●						1			
		●	●	●	●	●		●	●	●		●				3			
			●	●	●			●	●	●		●				11		◆	
					●										●	1			
					●											1			
●					●	●	●	●		●		●	●			10			
●					●	●										2			
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	23			
			●		●		●					●	●			1			
●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			7			
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			17			
					●	●	●				●					1			
●					●	●	●				●		●			8			
						●										2			
							●						●			3			
●								●							●	4			
									●							1			
					●			●								4			
												●				1			
	●	●		●	●							●	●			9			
							●									1			
				●									●			2			
																1			
												○				2			
●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	21			
●		●	●	●			●			●		●	●		●	14			
●	●	●	●		●		●		●	●		○	●	●	●	19			

表Ⅳ-2-5 昆虫類の確認種一覧（小規模緑地など）(2/4)

目名	科名	種名	Ⅰ 北町・田柄 エリア				Ⅱ 豊玉・中村 エリア		
			Ⅰ ③	Ⅰ ④	Ⅰ ⑤	Ⅰ ⑧	Ⅱ ③	Ⅱ ④	Ⅱ ⑤
			どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
カメムシ	セミ	ニイニイゼミ	●	●	●		●	●	●
		ヒグラシ		●	●		●		
	オオヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	●		●	●		●	●
	キジラミ	ヤツデキジラミ					●	●	
	アメンボ	アメンボ							
	ゲンバイムシ	ツツジゲンバイ					●		
		プラタナスゲンバイ							
		アワダチソウゲンバイ							
	サシガメ	ヨコヅナサシガメ							
	イトカメムシ	ヒメイトカメムシ						●	
		イトカメムシ		●					
	ナガカメムシ	ヒメナガカメムシ							
		ヒゲナガカメムシ							
		モンシロナガカメムシ							
		オオモンシロナガカメムシ			●				
		コバネヒョウタンナガカメムシ		●					
	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ							
	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ					●		
		ヒメホシカメムシ							
	ホソヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ				●			
	ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ							
		ホソハリカメムシ							
		ハリカメムシ				●			●
	ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ				●			
	キンカメムシ	アカスジキンカメムシ					●	●	
	カメムシ	ウズラカメムシ		●					
		ブチヒゲカメムシ				●			
		キマダラカメムシ							
		ナガメ		●		●			
		ムラサキシラホシカメムシ				●			●
		クサギカメムシ	●					●	●
チャバネアオカメムシ						●	●	●	
ツノカメムシ		セアカツノカメムシ		●				●	●
		ヒメツノカメムシ							
	エサキモンキツノカメムシ							●	
アミメカゲロウ	ウスバカゲロウ					●			
コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ			●	●	●		
		コハンミョウ				●			
	オサムシ	アオオサムシ							
	シテムシ	オオヒラタシテムシ			●				
	クワガタムシ	クワガタ			●				
		ノギリクワガタ							
	センチコガネ	センチコガネ							
	コガネムシ	コフキコガネ			●	●		●	
		アオドウガネ							
		ドウガネブイブイ				●			●
		ヒメコガネ					●		
		セマダラコガネ		●				●	●
		マメコガネ	●			●	●		
コアオハナムグリ				●					

Ⅲ 石神井・関町 エリア				Ⅳ 大泉・土支田エリア					ルート							確認 箇所数	重要種		外来種
Ⅲ ③	Ⅲ ④	Ⅲ ⑤	Ⅲ ⑥	Ⅳ ④	Ⅳ ⑤	Ⅳ ⑥	Ⅳ ⑦	Ⅳ ⑧	R ①	R ②	R ③	R ④	R ⑤	R ⑥	R ⑦		国 R L	都 R L ・ 区 部	
●		●		●	●		●	●	●	●		●				15			
●	●	●					●									7	NT		
	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●		●	16			
															●	2			
						●			●	●	●					2			
									●							5			
									●							1		◆	
								●								1		◆	
	●								●		●				●	2		◆	
											●					4			
																1			
●			●													1			
							●									1			
	●															2			
																1			
														●		1			
																1			
○																1			
								●								2			
					●									●		2			
					●											1			
																2			
								●								2			
												●				3			
						●								●		2			
																3			
								●			●					1		◆	
																3			
																2			
																3			
●	●	●														5			
																3			
													●			1			
													●			2			
													●			2			
														●		8			
																2	NT		
																1			
●													●			5			
																1			
●																1	NT		
																1			
																11			
																2			
																8			
																1			
																3			
																8			
																3			
	●															8			
																3			
																3			

表Ⅳ－２－５ 昆虫類の確認種一覧（小規模緑地など）(3/4)

目名	科名	種名	Ⅰ 北町・田柄 エリア				Ⅱ 豊玉・中村 エリア		
			Ⅰ ③	Ⅰ ④	Ⅰ ⑤	Ⅰ ⑧	Ⅱ ③	Ⅱ ④	Ⅱ ⑤
			どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
コウチュウ	コガネムシ	シロテンハナムグリ	●	●					●
		カナブン		●	●				
		カブトムシ	●	●	●		●		
	タマムシ								
	カツオブシムシ								
	ケシキスイ								
	オオキノコムシ	カタモンオオキノコ							
		アカハバビロオオキノコ							
		ヒメオビオオキノコ							
	テントウムシ	ムーアシロホシテントウ					●		●
		ナナホシテントウ				●			
		ナミテントウ				○	●		
		キイロテントウ			●	●			●
		ダンダラテントウ				●			●
		トホシテントウ					●		●
		オオニジュウヤホシテントウ				●			
	ハムシダマシ	ハムシダマシ							
	ゴミムシダマシ	キマフリ							
	カミキリムシ	ノコギリカミキリ							
		ゴマダラカミキリ							
キボシカミキリ									
ハムシ	アズキマメゾウムシ								
	クロウリハムシ					●		●	
	イタドリハムシ							●	
ゾウムシ	スグリゾウムシ				●		●		
ハチ	ミフシハバチ	ルリチュウレンジ	●						●
		ヒゲナガハバチ							
	ツチバチ	アカスジツチバチ	●						
		キンケハラナガツチバチ	●						
	ドロバチ	スズバチ							
	スズメバチ	コアシナガバチ							
		コガタスズメバチ							●
		クロスズメバチ							
	アナバチ	クロアナバチ				●			
		キスジツチスガリ							
コシブトハナバチ	クマバチ		●		●		●		
ミツバチ	コマルハナバチ								
	ニホンミツバチ		●				●		
ハエ	ガガンボ	キイロホソガガンボ							
	ミズアブ	アメリカミズアブ	●			●	●		
	ツリアブ	ビロウドツリアブ							
	ムシヒキアブ	アオメアブ		●					
		シオヤアブ				●	●	●	
		マガリケムシヒキ		●	●	●			
	ハナアブ	アシブトハナアブ		●					
	ベッコウバエ	ベッコウバエ							
クロバエ	ツマグロキンバエ								
チョウ	ニセマイコガ	カキノヘタムシガ							
	マダラガ	ホタルガ			●		●		
	メイガ	シロオビノメイガ				●		●	

Ⅲ 石神井・関町エリア				Ⅳ 大泉・土支田エリア					ルート							確認箇所数	重要種		外来種
Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④	R⑤	R⑥	R⑦		国R L	都R L・区部	
東京カトリック神学院	天祖若宮八幡宮	M O 氏邸	石泉愛らんど	土支田八幡宮	M U 氏邸	小作原広場	井頭こぶし憩いの森	O 氏畑	練馬駅周辺ルート	城南住宅ルート	田柄川緑道ルート	立野町ルート	土支田・谷原ルート	石神井川流域	白子川流域				
						●							●		●	6			
●			●				●			●				●		7			
●				●										●		7			
					●											1	NT		
						●		●								2			
●																1			
		●														1			
		●														1			
		●														1			
																2			
●	○		●			●	●	●				●	●		●	6			
						●		●					●	●		9			
						●		●					●	●		8			
									●				●	●		3			
			○			●							●			5			
							●		●							3			
					●						●					1			
				●	●											2			
					●								●			1	NT		
													●			1			
						●							●			1			
		●					●					●	●			6			
																1			
●	●												●		●	2			
●	●												●		●	7			
		●														1			
																1			
●																1			
							●									1			
		●										●				2			
																1			
																1			
						●										1			
●		●	●			●	●			●	●	●	●			11			
	●			○		●			●		●	●				6			
				○												2			
				○												1			
		●	●	●			●						●			8	◆		
																1			
●			●			●				●		●			●	7			
●		●	●				●	●				●				9			
										●						4			
		●														2			
	●	●														2			
													●			1			
								●								1			
				●	●		●									5			
			●		●	●	●					●				7			

表IV-2-5 昆虫類の確認種一覧（小規模緑地など）(4/4)

目名	科名	種名	I 北町・田柄エリア				II 豊玉・中村エリア		
			I ③	I ④	I ⑤	I ⑧	II ③	II ④	II ⑤
			どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
	セセリチョウ	ダイミョウセセリ	●	●					
		イチモンジセセリ	●			●	●		
		チャバナセセリ							
		キマダラセセリ		●					
	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ			●		●		
		アオスジアゲハ	●	●			●	●	●
		カラスアゲハ							
		モンキアゲハ							
		キアゲハ		●					
		ナガサキアゲハ		●			●		●
		クロアゲハ	●	●	●	●	●		●
	ナミアゲハ	●	●	●	●	●		●	
	シロチョウ	ツマキチョウ					○		
		モンキチョウ							
		キチョウ	●	●			●		●
		スジグロシロチョウ					●		●
		モンシロチョウ	●			●	●		
	シジミチョウ	ルリシジミ							
		ツバメシジミ							
		ウラナミシジミ							
		ベニシジミ		●					
		ムラサキツバメ							
		ムラサキシジミ					●		
		ヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●
		ウラギンシジミ					●		●
	マダラチョウ	アサギマダラ							
	タテハチョウ	コムラサキ							
		ミドリヒョウモン							
		ツマグロヒョウモン	●	●		●	●		
		ヒメアカタテハ				●			
		アカボシゴマダラ	●	●			●		
		ゴマダラチョウ	●						●
		ルリタテハ							
		コムシジ	●	●		●	●		●
		キタテハ							
		アカタテハ							
		ジャノメチョウ	ヒカゲチョウ						
	クロコノマチョウ								
	ヒメジャノメ		●	●	●	●	●		●
	サトキマダラヒカゲ			●	●				
	ヤマユガ	オオミズアオ			●				
		オオスカシバ				●			
	スズメガ	ホシホウジャク							
		シモフリスズメ							
		セスジスズメ							
		キタホソバ					●		
	ヒトリガ	スジベニコケガ					●		
ナカジロシタバ									
ヤガ	ナカジロシタバ								
11	81	198	32	42	28	55	52	22	40

種名および並びは日本産野生生物目録-本邦産野生動物植物の種の現状- 環境省編 無脊椎動物編IIなどに準拠している。

●:通常調査での確認 ○:補足調査での確認

■:小規模緑地のみで確認した種

Ⅲ 石神井・関町エリア				Ⅳ 大泉・土支田エリア					ルート							確認箇所数	重要種		外来種	
Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑧	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④	R⑤	R⑥		R⑦	国RL		都RL・区部
東京カトリック神学院	天祖若宮八幡宮	M O 氏邸	石泉愛らんど	土支田八幡宮	M U 氏邸	小作原広場	井頭こぶし憩いの森	○氏畑		練馬駅周辺ルート	城南住宅ルート	田柄川緑道ルート	立野町ルート	土支田・谷原ルート	石神井川流域		白子川流域			
		●	●											●			5			
●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17			
					●	●				●		●					4			
															●		2			
																	2			
	●	●	●							●	●	●	●	●		●	14			
●									●					●			3			
		●															1			
●			●				●	●						●			6			
		●	●							●			●			●	8			
●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	20			
●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	19			
●								●	●				●	●			4			
●								●	●				●	●			4			
●		●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	15			
●	●	●	●	●				●		●	●	●	●	●		●	12			
●	●		●		●	●		●		●	●	●	●	●		●	14			
														●	●	●	3			
														●			1			
			●					●					●		●		4			
●						●			●	●	●			●			6			
		●															1			
		●		●										●			4			
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	23			
	●															●	3			
																●	1			
													●				1	*		
●			●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16			
●			●		●	●	●	●	●		●		●	●		●	10			
	●		●										●				6		要注意外来生物	
●													●	●			3			
●	●	●	●	●			●					●	●	●	●	●	4			
●	●	●	●	●			●				●	●	●	●	●	●	16			
								●									1			
															○		1			
●		●	●	●	●		●					●					7			
	●																1			
●	●	●		●		●	●				●			●			13			
●	●						●				●			●			7			
						●											2	VU		
					●					●	●	●	●				6			
											●	●					2			
		○															1			
							●										1			
																	1			
														○			1			
49	33	43	43	27	35	37	46	32		28	31	32	62	56	17	36	0	11		

## ②重要種

文化財保護法、種の保存法における指定種の確認は無かった。

国 RL の記載種は、エサキアメンボ（準絶滅危惧）の 1 種であった。都 RL の記載種は 39 種であった。

表IV-2-7に重要種一覧、表IV-2-8に重要種の確認状況を示した。



表Ⅳ-2-7 昆虫類の重要種一覧

科名	種名	重要種		Ⅰ 北町・田柄 エリア						Ⅱ 豊玉・中村 エリア		
				Ⅰ ①	Ⅰ ②	Ⅰ ③	Ⅰ ④	Ⅰ ⑤	Ⅰ ⑧	Ⅱ ①	Ⅱ ②	Ⅱ ③
				都立光が丘公園	都立城北中央公園	どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	武蔵学園	豊島園	廣徳寺・区立高稲荷公園
国 R L	都 R L ・ 区 部											
アメンボ	エサキアメンボ	NT	DD									
アゲハチョウ	オナガアゲハ		CR +EN									
アメンボ	オオアメンボ		CR							●		
タマムシ	ウバタマムシ		CR									
イトトンボ	キイトンボ		EN	○								
ヤンマ	アオヤンマ		EN									
トンボ	ヨツボシトンボ		EN	●								
コガネムシ	ヒメトラハナムグリ		EN								●	
コガネムシ	クロカナブン		EN									
カワトンボ	ハグロトンボ		VU								●	
トンボ	シオヤトンボ		VU									
トンボ	ミヤマアカネ		VU	○								
バッタ	ショウリョウバッタモドキ		VU	●								
ハネカクシ	キンボシハネカクシ		VU	●								
クワガタムシ	ヒラタクワガタ		VU	●							●	
カミキリムシ	キスジトラカミキリ		VU	●								
カミキリムシ	センノカミキリ		VU								●	
ヤママユガ	オオミズアオ		VU	●				●				
オニヤンマ	オニヤンマ		NT	●								
トンボ	チョウトンボ		NT	●							●	
トンボ	マイコアカネ		NT	●								●
トンボ	リスアカネ		NT	○		●						
アメンボ	シマアメンボ		NT									
セミ	ヒグラシ		NT	○			●	●			○	●
ハンミョウ	コハンミョウ		NT		●				●			
クワガタムシ	ノコギリクワガタ		NT									
タマムシ	ヤマトタマムシ		NT	●								
カミキリムシ	ノコギリカミキリ		NT									
カミキリムシ	タケトラカミキリ		NT									
キリギリス	シブイロカヤキリ		DD	●								
コオロギ	タンボコオロギ		DD									
ヒバリモドキ	ヒゲシロスズ		DD	●							●	
ヒバリモドキ	ヤチスズ		DD	●								
ヒバリモドキ	キンヒバリ		DD	●								
バッタ	ツマグロバッタ		DD	○								
ハムシ	ハッカハムシ		DD									
シジミチョウ	ミドリシジミ		DD									
タテハチョウ	イチモンジチョウ		DD									
シジミチョウ	ミズイロオナガシジミ		*									
タテハチョウ	コムラサキ		*	●								
		1	40	20	1	1	1	2	1	1	7	2
			40				21				9	

重要種凡例

【国RLおよび都RL】

EX: 絶滅

CR+EN: 絶滅危惧I類

CR: 絶滅危惧IIA類

EN: 絶滅危惧IIB類

VU: 絶滅危惧II類

NT: 準絶滅危惧

DD: 情報不足

\*: 留意種

Ⅲ 石神井・関町 エリア						Ⅳ 大泉・土支田 エリア						ルート			確認 箇所数	備考	
Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ②	Ⅳ③	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑧	R④	R⑥	R⑦			
都立石神井公園	区立武蔵関公園	東京カトリック神学院	天祖若宮八幡宮	M O 氏邸	石泉愛らんど	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	M U 氏邸	小作原広場	井頭こぶし憩いの森	区立びくに公園	立野町ルート	石神井川流域	白子川流域			
●															1		
●															1		
●							●								3		
○															1		
															1		
●															1		
															1		
	●					●									3		
													●	●	0	南田中憩いの森での記録	
●							○							●	4		
														●	1		
														●	2		
											●				2		
															1		
							●								3		
															1		
●						●									2		
●	●								●						5		
							○								2		
●															3		
●							●	●							5		
															2		
							●	●							2		
●	○	●	●	●		●				●					12		
					●										3		
		●													1		
●						●		●							4		
								●							1		
															0	南田中での記録	
															1		
●															1		
						●									3		
●															2		
●															2		
															1		
●															1		
●															1		
●															1		
●															1		
●	●											●			1		
19	4	2	1	1	1	8	5	2	1	1	1	1	1	2	4		
22						13											

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (1/8)

<p>エサキアメンボ(アメンボ科)                  国RL:準絶滅危惧(NT) 都RL(区部):情報不足(DD)</p>	
	<p>確認地点:都立石神井公園                  確認状況:石神井池南岸の浅い水溜り状の場所で5月に確認した。</p>
<p>オナガアゲハ(アゲハチョウ科)                  都RL(区部):絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)</p>	
<p>写真無し</p>	<p>確認地点:都立石神井公園                  確認状況:8月に、サービスセンター南の茶屋付近で、飛翔中の1個体を確認した。</p>
<p>オオアメンボ(アメンボ科)                  都RL(区部):絶滅危惧ⅠA類(CR)</p>	
	<p>確認地点:武蔵学園、都立石神井公園、八の釜憩いの森                  確認状況:武蔵学園では4～9月、石神井公園では三宝寺池側水路で5、8月に、八の釜憩いの森では、5～6月、8～9月に確認した。いずれの調査地でも、樹林などに囲まれた止水域で確認された。武蔵学園では多数確認された。</p>
<p>ウバタマムシ(タマムシ科)                  都RL(区部):絶滅危惧ⅠA類(CR)</p>	
	<p>確認地点:都立石神井公園                  確認状況:任意調査中(平成21年5月)に、石神井池側の園路上で1個体を確認した。</p>
<p>キイトンボ(イトンボ科)                  都RL(区部):絶滅危惧ⅠB類(EN)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園                  確認状況:平成20年7月の下見時に交尾中の個体を、平成22年7月のクモ類調査時に1個体を確認した。いずれもバードサンクチュアリ内の池の、水際の抽水植物群落の中にいた。</p>

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (2/8)

<p>アオヤンマ(ヤンマ科) 都RL(区部):絶滅危惧ⅠB類(EN)</p>	
<p>写真無し</p>	<p>確認地点:都立石神井公園 確認状況:6月に水辺観察園で確認した。</p>
<p>ヨツボシトンボ(トンボ科) 都RL(区部):絶滅危惧ⅠB類(EN)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園 確認状況:5月にバードサンクチュアリで確認した。</p>
<p>ヒメトラハナムグリ(コガネムシ科) 都RL(区部):絶滅危惧ⅠB類(EN)</p>	
	<p>確認地点:豊島園、区立武蔵関公園、清水山憩いの森 確認状況:豊島園では5月にアジサイ園で、区立武蔵関公園では5月に池の周囲で、清水山憩いの森では6月に確認した。</p>
<p>クロカナブン(コガネムシ科) 都RL(区部):絶滅危惧ⅠB類(EN)</p>	
	<p>確認地点:南田中憩いの森 (調査地外) 確認状況:平成21年7月、任意調査中に確認した。</p>
<p>ハグロトンボ(カワトンボ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
	<p>確認地点:豊島園、八の釜憩いの森、石神井川流域、白子川流域 確認状況:豊島園では6～7月に石神井川沿いの樹林などで、石神井川流域や白子川流域では多数確認した。</p>

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (3/8)

<p>シオヤトンボ(トンボ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
	<p>確認地点:都立石神井公園 確認状況:三宝寺池側の水辺観察園で5月に確認した。</p>
<p>ミヤマアカネ(トンボ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園、白子川流域 確認状況:光が丘公園では、平成22年9月にバードサンクチュアリ内の池で、白子川流域では、平成22年10月、任意調査中に1個体を確認した。</p>
<p>ショウリョウバッタモドキ(バッタ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園、区立びくに公園 確認状況:光が丘公園・びくに公園ともに、7月から9月まで確認した。いずれの地点でも定着していると考えられる。</p>
<p>キンボシハネカクシ(ハネカクシ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園 確認状況:6月に、園内を任意調査中に確認した。</p>
<p>ヒラタクワガタ(クワガタムシ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園、豊島園、区立びくに公園 確認状況:光が丘公園のバードサンクチュアリ内と、びくに公園では7月に確認した。豊島園では、5月にアジサイ園で確認した。</p>

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況（4/8）

キスジトラカミキリ(カミキリムシ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)	
	確認地点:都立光が丘公園 確認状況:5月に屋敷森で確認した。
センノカミキリ(カミキリムシ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)	
	確認地点:豊島園、稲荷山憩いの森 確認状況:豊島園では、8月に石神井川沿いの樹林地で交尾中の個体を確認した。稲荷山憩いの森では、7月に確認した。
オオミズアオ(ヤマムユガ科) 都RL(区部):絶滅危惧Ⅱ類(VU)	
	確認地点:都立光が丘公園、都立石神井公園、区立武蔵関公園、U氏邸、小作原広場 確認状況:U氏邸と小作原広場では5月に、石神井公園では6月に、光が丘公園と武蔵関公園では8月に、1個体ずつ確認した。
オニヤンマ(オニヤンマ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)	
	確認地点:都立光が丘公園、清水山憩いの森 確認状況:光が丘公園では、8月にバードサンクチュアリで成虫を、清水山憩いの森では、平成22年6月に湧水で幼虫を確認した。
チョウトンボ(トンボ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)	
	確認地点:都立光が丘公園、豊島園、都立石神井公園 確認状況:光が丘公園では7～8月にバードサンクチュアリや屋敷森で、豊島園では7月に庭の湯周辺林で、石神井公園では9月に石神井池で確認した。

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (5/8)

<p>マイコアカネ(トンボ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園、都立石神井公園、稲荷山憩いの森、八の釜憩いの森、土支田八幡宮、廣徳寺、立野町ルート 確認状況:光が丘公園では8月にバードサンクチュアリや屋敷森で、石神井公園では7～9月に三宝寺池側や石神井池側で確認された。また、土支田八幡宮と廣徳寺では7月に、稲荷山憩いの森では8月に、八の釜憩いの森と立野ルート(立野公園)では9月に確認された。</p>
<p>リシアカネ(トンボ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園、どんぐり山憩いの森 確認状況:光が丘公園では平成22年8月にバードサンクチュアリで、どんぐり山憩いの森では、平成20年8月の下見時に1個体を樹林内で確認した。</p>
<p>シマアメンボ(アメンボ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)</p>	
	<p>確認地点:清水山憩いの森、八の釜憩いの森 確認状況:清水山憩いの森では、4～8月および10月(9月は調査せず)、八の釜憩いの森では5～9月に、それぞれ湧水で確認した。</p>
<p>ヒグラシ(セミ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)</p>	
	<p>確認地点:都立光が丘公園、八幡神社、U氏邸、豊島園、廣徳寺・区立高稲荷神社、都立石神井公園、区立武蔵関公園、東京カトリック神学院、天祖若宮八幡宮、MO氏邸、稲荷山憩いの森・清水山憩いの森、井頭こぶし憩いの森 確認状況:全ての調査地で、7～8月に確認した。なお、光が丘公園、豊島園、武蔵関公園、東京カトリック神学院、天祖若宮八幡宮、井頭こぶし憩いの森は、下見時に確認した。</p>
<p>コハンミョウ(ハンミョウ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)</p>	
	<p>確認地点:都立城北中央公園、高松市民農園、石泉愛らんど 確認状況:都立城北中央公園では8月に「都民の森」で確認した。高松市民農園、石泉愛らんどでは7月に確認した。</p>

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (6/8)

ノギリクワガタ(クワガタムシ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)	
	確認地点:東京カトリック神学院 確認状況:東京カトリック神学院内の雑木林で、7月に1個体を確認した。
ヤマトタマムシ(タマムシ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)	
	確認地点:都立光が丘公園、都立石神井公園、稲荷山・清水山憩いの森、MU氏邸 確認状況:光が丘公園、石神井公園、稲荷山・清水山憩いの森ではいずれも8月に、MU氏邸では7月に確認した。なお、稲荷山憩いの森、MU氏邸では平成20年7月の下見時にも確認した。
ノギリカミキリ(カミキリムシ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)	
	確認地点:MU氏邸 確認状況:MU氏邸の樹林地内で、7月に確認した。
タケトラカミキリ(カミキリムシ科) 都RL(区部):準絶滅危惧(NT)	
写真無し	確認地点:南田中 確認状況:南田中で7月に確認した(任意調査)。
シブイロカヤキリ(キリギリス科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点:都立光が丘公園 確認状況:4月、光が丘公園のバードサンクチュアリ内の高茎草地で成虫1個体を確認した。

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (7/8)

タンボコオロギ(コオロギ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
写真無し	確認地点: 都立石神井公園  確認状況: 8月の夜間調査中に、隣接した畑地で「鳴き声」を確認した。
ヒゲシロスズ(ヒバリモドキ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
写真無し	確認地点: 都立光が丘公園、豊島園、稲荷山憩いの森  確認状況: 光が丘公園ではバードサンクチュアリで9月に、豊島園では庭の湯周辺林で8月に、稲荷山憩いの森では10月に確認した。
ヤチスズ(ヒバリモドキ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点: 都立光が丘公園、都立石神井公園  確認状況: 光が丘公園では、バードサンクチュアリで7月に、石神井公園では、水辺観察園で6月に終齢幼虫を、三宝寺池畔で10月に声を確認した。
キンヒバリ(ヒバリモドキ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点: 都立光が丘公園、都立石神井公園  確認状況: 石神井公園では、三宝寺池畔、水辺観察園、石神井池、サービスセンター西のトイレ付近などで5～7月に、光が丘公園ではバードサンクチュアリの水辺の草地で、6～7月に「鳴き声」を確認した。
ツマグロバッタ(バッタ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点: 都立光が丘公園  確認状況: 光が丘公園のバードサンクチュアリ内の草地で平成22年4月に幼虫1個体を確認した。なお、平成20年9月に、光が丘公園バードサンクチュアリで確認した。(光が丘公園バードサンクチュアリ記録)

表Ⅳ－２－８ 昆虫類の重要種確認状況 (8/8)

ハッカムシ(ハムシ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点: 都立石神井公園 確認状況: 6月に、水辺観察園で確認した。
ミドリシジミ(シジミチョウ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点: 都立石神井公園 確認状況: 水辺観察園周辺のハンノキ林で、6月に確認した。
イチモンジチョウ(タテハチョウ科) 都RL(区部):情報不足(DD)	
	確認地点: 都立石神井公園 確認状況: 6月に水辺観察園付近で、7月に野鳥誘致林付近で確認した。また、平成20年8月の下見時にも確認した。
ミズイロオナガシジミ(シジミチョウ科) 都RL(区部):留意種(*)	
	確認地点: 都立石神井公園 確認状況: 6月に、野鳥誘致林の周辺で確認した。
コムラサキ(タテハチョウ科) 都RL(区部):留意種(*)	
	確認地点: 都立光が丘公園、都立石神井公園、区立武蔵関公園、立野町ルート 確認状況: 光が丘公園では、5月に屋敷森とバードサンクチュアリで、石神井公園では、5月に水辺観察園で、7月に石神井池で、武蔵関公園では7月に池周辺の任意調査中に確認した。立野町ルートでは、区立立野公園内の池周辺で、5、7、9月のすべての調査時期で確認した。

※特に年の記載がない場合は平成21年の確認

### ③外来種

確認種のうち、環境省が指定する特定外来生物はいなかったが、要注意外来生物を1種確認した。この確認状況を表Ⅳ-2-9に、種の特徴について表Ⅳ-2-10に示した。

これ以外に外来種（※定義については第三章参照）にあたるのは、表Ⅳ-2-11に示した9種であった。ただし、外来種については諸説あり、今後該当種が増える可能性があることに注意が必要である。

表Ⅳ-2-9 昆虫類の要注意外来生物 確認状況

アカボシゴマダラ(タテハチョウ科) 環境省 要注意外来生物	
	<p>確認地点：都立光が丘公園、都立城北中央公園、どんぐり山憩いの森、八幡神社、豊島園、廣徳寺・高稲荷公園、都立石神井公園、区立武蔵関公園、稲荷山憩いの森・清水山憩いの森、八の釜憩いの森、天祖若宮八幡宮、石泉愛らんど、立野町ルート(計13箇所)</p> <p>確認状況：各調査地で、1～数個体を確認した。</p>

表Ⅳ-2-10 要注意外来生物・アカボシゴマダラについて

和名および学名	文献等で指摘されている影響の内容	摘要
アカボシゴマダラ <i>Hestina assimilis</i> (在来 <i>H. a. shirakii</i> を除く)	生態系 (競合)	<p>ゴマダラチョウとの競合が懸念されている。  <i>Hestina assimilis shirakii</i> が奄美大島に在来で分布するが、神奈川県などで分布を拡大中の種は国外産の亜種である。</p> <p>植物防疫法に基づく検疫有害動物として輸入が禁止されている種であり、国内で意図的に放蝶して野外への定着を試みる行為は、被害の予防の観点からも、厳に慎むべきである。</p>

※環境省ウェブサイト (<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>) より

表Ⅳ－２－１１ 確認した昆虫類の外来種一覧（要注意外来生物を除く）

目名	科名	種名	確認場所
ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	区立武蔵関公園
バッタ	マツムシ	アオマツムシ	都立光が丘公園、都立城北中央公園、武蔵学園、豊島園、どんぐり山憩いの森、U氏邸、廣徳寺・区立高稲荷公園、都立石神井公園、区立武蔵関公園、都立大泉中央公園、稲荷山憩いの森・清水山憩いの森、八の釜憩いの森、天祖若宮八幡宮、M O氏邸、石泉愛らんど、土支田八幡宮、MU氏邸、O氏畑、城南住宅ルート、立野町ルート（計20箇所）
カメムシ	ゲンバウムシ	プラタナスゲンバイ	都立光が丘公園、都立城北中央公園、区立武蔵関公園、練馬駅周辺ルート（計4箇所）
		アワダチソウゲンバイ	都立光が丘公園、都立城北中央公園、武蔵学園、豊島園、都立石神井公園、区立武蔵関公園、都立大泉中央公園、清水山憩いの森、八の釜憩いの森、区立びくに公園、O氏畑（計11箇所）
	サシガメ	ヨコヅナサシガメ	都立城北中央公園、武蔵学園、都立石神井公園、都立大泉中央公園、稲荷山憩いの森、練馬駅周辺ルート、田柄川緑道ルート（計7箇所）
	カメムシ	キマダラカメムシ	田柄川緑道ルート
コウチュウ	オサムシ	コルリアトキリゴミムシ	都立光が丘公園、都立城北中央公園
	テントウムシ	クモガタテントウ	武蔵学園、豊島園、清水山憩いの森
	カミキリムシ	ラミーカミキリ	都立光が丘公園
	ゾウムシ	ヤサイゾウムシ	都立光が丘公園、都立大泉中央公園
ハチ	ミツバチ	セイヨウミツバチ	都立光が丘公園、都立城北中央公園、武蔵学園、都立石神井公園、都立大泉中央公園、稲荷山憩いの森、八の釜憩いの森、区立びくに公園（計8箇所）
ハエ	ミズアブ	アメリカミズアブ	都立光が丘公園、豊島園、都立石神井公園、武蔵関公園、八の釜憩いの森、どんぐり山憩いの森、高松市民農園、廣徳寺・区立高稲荷公園、MO氏邸、石泉愛らんど、土支田八幡宮、井頭こぶし憩いの森、土支田・谷原ルート（計13箇所）
	ハナアブ	スイセンハナアブ	都立光が丘公園、都立城北中央公園、都立石神井公園、稲荷山憩いの森・清水山憩いの森（計4箇所）
6目	12科	13種	

## 2) 主要種群のまとめ

### ①トンボ類

#### A. 科別出現傾向

トンボ類は、9科34種を確認した。以下に、科ごとの出現傾向をまとめる。

##### a. イトトンボ科

4種を確認したが、いずれも大規模緑地だけの記録であり、確認箇所も1~3地点と少ない。特にキイトンボは都立光が丘公園のバードサンクチュアリ、アオモンイトンボは、都立石神井公園の三宝寺池でのみ確認され、区内でも孤立した状態にあると考えられる。

##### b. アオイトトンボ科

2種を確認した。アオイトトンボは都立光が丘公園と白子川流域の2箇所、オオアオイトンボは都立光が丘公園のバードサンクチュアリと都立石神井公園の城址と三宝寺池、区立武蔵関公園の「葦の島」の3箇所と、区内でも大規模な水域を有する場所でのみ確認されている。

##### c. モノサシトンボ科

モノサシトンボ1種を、都立石神井公園の全域と区立武蔵関公園の「松の島」で確認した。

##### d. カワトンボ科

ハグロトンボ1種を、豊島園、石神井川流域、白子川流域で確認した。区内を流れる2つの水系で、いずれも繁殖しているものと考えられる。

##### e. オニヤンマ科

オニヤンマ1種を、都立光が丘公園と清水山憩いの森で確認した。都立光が丘公園では成虫を確認したが、バードサンクチュアリ内の流れで、羽化した可能性がある。清水山憩いの森では、湧水で幼虫を確認しており、繁殖していると考えられる。

##### f. ヤンマ科

5種を確認した。市街地でも比較的普通種のギンヤンマやクロスジギンヤンマの他に、抽水植物が繁茂する池沼を選好するアオヤンマ、マルタンヤンマ、ヤブヤンマを確認した。なお、都立石神井公園では5種すべてを確認した。

##### g. サナエトンボ科

ウチワヤンマ1種を、都立光が丘公園、都立石神井公園、区立武蔵関公園で確認した。都立光が丘公園の記録は、補足調査でのものであり、周辺から飛来したと考えられる。

##### h. エゾトンボ科

オオヤマトンボ1種を、都立石神井公園の2つの石神井池・三宝寺池と区立武蔵関公園で確認した。区立武蔵関公園では、成虫だけでなく、羽化殻も確認した。

### i. トンボ科

18 種を確認した。ウスバキトンボが 18 箇所、オオシオカラトンボとナツアカネが 14 箇所、シオカラトンボとアキアカネを 12 箇所を確認し、それぞれ区内に広く分布することが把握された。

一方、ヨツボシトンボとネキトンボは都立光が丘公園で、シオヤトンボは都立石神井公園でのみ確認した。

### B. 生息環境別にみた生息傾向

「生きもののすむ環境づくりトンボ編」(1991)による生息環境の区分を参考に、本調査で確認した種を区分した。これを表Ⅳ-2-12に示した。

表Ⅳ-2-12 確認したトンボ類の生息環境別区分

	生息環境	種数	主な該当種
流水性	小川	3 種	ハグロトンボ、オニヤンマ、ミヤマアカネ
止水性	水生植物が豊富で木陰の多い池沼	6 種	クロイトトンボ、ヤブヤンマ、クロスジギンヤンマ、モノサシトンボ、アオイトトンボ、オオアオイトトンボ
	水生植物が豊富で開放的な池沼	10 種	アジアイトトンボ、アオヤンマ、マルタンヤンマ、ショウジョウトンボ、シオヤトンボ、ナツアカネ、アキアカネ、ノシメトンボ、コノシメトンボ、マイコアカネ
	プールのような人工的な池	4 種	ギンヤンマ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ
	合計	23 種	

#### a. 流水域を愛好する種

3 種を確認した。ハグロトンボについては、石神井川、白子川という区内を流れる 2 つの小河川でたびたび確認し、既存の調査でも幼虫を確認していることから、安定して生息していると考えられる。オニヤンマについては、清水山憩いの森の湧水で幼虫を確認したほか、都立光が丘公園バードサンクチュアリ内の人工的な流れでの発生が示唆された。ミヤマアカネは、都立光が丘公園バードサンクチュアリと白子川流域で 1~2 個体を確認した。

#### b. 水生植物が豊富で木陰の多い池沼を愛好する種

6 種が確認された。沼沢植物群落のある都立石神井公園では 5 種、都立光が丘公園で 4 種、区立武蔵関公園でも 3 種を確認している。

#### c. 水生植物が豊富で開放的な池沼を愛好する種

10 種を確認した。都立光が丘公園と都立石神井公園で多くの種が確認されたほか、池のある区立武蔵関公園でも確認した。一方で、樹林地のみである調査地点でも確認したが、これは未成熟個体が採食のために発生場所から一時的に移動してくるためである。

確認場所の少ない種としては、アオヤンマ、マルタンヤンマの 2 種を、都立石神井公園の

三宝寺池で確認した。天然記念物にもなっている沼沢植物群落の存在が、これらの種の生息を確保していると考えられる。シオヤトンボについては、都立石神井公園の水辺観察園内のゆるやかな流れで、1 個体を確認した。

#### **d. プールのような人工的な池でも生息可能な種**

市街環境に普通に生息する 4 種を確認した。前述のようにウスバキトンボを 18 箇所、オオシオカラトンボを 14 箇所、シオカラトンボを 12 箇所を確認し、区内全体に広く生息していた。これは、人工的な池として小中学校内のプールや池などが利用されているためと考えられる。一方、ギンヤンマは 4 箇所のみであったが、他の種と比較して産卵するために抽水植物を必要とするためと考えられる。

## ②バッタ類

### A. 科別出現傾向

バッタ類は、12科45種を確認した。以下に、科ごとの出現傾向をまとめる。

#### a. カマドウマ科

マダラカマドウマ、クラズミウマの2種を確認した。これらは夜行性であるため、偶発的な記録と考えられる。今後、夜間の調査などを実施することで、確認場所や種数の増加が見込まれる。

#### b. キリギリス科

9種を確認した。

クビキリギスを13箇所と最も多くの調査地で確認した。ついでウスイロササキりを6箇所で確認した。

一方、ササキリ、シブイロカヤキリは1箇所のみの記録であり、区内での分布が孤立している可能性が高い。また、調査対象地ではないが、ヤブキリを石神井図書館周辺で確認した。

#### c. ツユムシ科

4種を確認した。

セスジツユムシとサトクダマキモドキを5箇所で確認したが、ほとんどが大規模緑地であった。ツユムシは、3箇所で確認した。

#### d. コオロギ科

5種を確認した。

市街地にも一般的な、エンマコオロギが13箇所、モリオカメコオロギやツツレサセコオロギを11箇所で確認し、区内に広く分布していることが把握された。

一方、湿地性のタンボコオロギが都立石神井公園の周辺で確認した。

#### e. マツムシ科

3種を確認した。

スズムシを、都立光が丘公園と都立石神井公園で、カンタンを、都立光が丘公園、都立城北中央公園、都立石神井公園の3箇所で確認した。両種は、鳴き声が好まれることから、移入された可能性が高い。ただし、本種が生息することは、クズなどを含む高茎草本地が存在することであり、区内では希少な環境の指標になると考えられる。

アオマツムシを、23箇所で確認した。草地を除く区内全域に広く分布していることが把握された。

#### f. ヒバリモドキ科

8種を確認した。

市街地にも一般的な、マダラスズを19箇所、シバズズを8箇所で確認した。

樹林性のウスグモズズは、大規模樹林8箇所を含む9箇所で確認し、一定規模以上の樹林地に定着している状況が伺える。

一方、湿地性のキンヒバリやヤチズズは、都立光が丘公園と都立石神井公園で、クズなど

の茂みを好むクサヒバリは都立光が丘公園、豊島園、石神井川流域の 3 箇所を確認した。ヤマトヒバリ、ヒゲシロスズも 3 箇所のみ記録であり、これらの種は分布が非常に限定されていることが伺える。

#### **g. カネタタキ科**

カネタタキ 1 種を、33 箇所を確認した。ルートの調査地すべてでも確認したことから、住宅地なども含め、区内全域に広く分布していることが把握された。

#### **h. アリツカコオロギ科**

テラニシアリツカコオロギ 1 種を、豊島園と都立大泉中央公園の 2 箇所を確認した。本種はケアリ亜属のアリの巣から見つかること、体長が 2.1~2.6mm と小さいことなどから、発見効率が悪いと考えられる。そのため、特に本種を対象とした調査を行うことで、他の調査地でも生息している可能性がある。

#### **i. ノミバッタ科**

ノミバッタ 1 種を、4 箇所を確認した。大規模緑地以外に、高松市民農園でも確認した。

#### **j. ヒシバッタ科**

トゲヒシバッタ、ハラヒシバッタの 2 種を確認した。トゲヒシバッタは、都立光が丘公園のバードサンクチュアリのみで確認した。ハラヒシバッタは、大規模緑地を中心に、裸地の混じる草地のある 15 箇所を確認した。

#### **k. オンブバッタ科**

オンブバッタ 1 種を、28 箇所を確認した。住宅地なども含め、区内全域に広く分布していることが把握された。

#### **l. バッタ科**

8 種を確認した。

ショウリョウバッタを 16 箇所を確認し、区内の草地に広く分布していることが把握された。一方で、ツマグロイナゴとツチイナゴは都立光が丘公園のみで、ショウリョウバッタモドキは、都立光が丘公園と区立びくに公園の 2 箇所を確認した。いずれも、それぞれの場所で孤立していると考えられる。

※上記には含まれていないが、調査地でのヒアリングから、ケラ（ケラ科）が生息している可能性が高い。

## B. 生息環境別にみた生息傾向

「日本バッタ大図鑑」(2005)による生息環境の区分を参考に、本調査で確認した種を区分した。これを表IV-2-13に示した。

表IV-2-13 確認したバッタ類の生息環境別区分

生息環境	種数	主な該当種
樹林	10種	マダラカマドウマ、クラズミウマ、アオマツムシ、ヤマトヒバリ、ウスグモスズ、ヒメクダマキモドキ、サトクダマキモドキ、モリオカメコオロギ、テラニシアリツカコオロギ、カネタタキ
林縁	7種	クサヒバリ、セスジツユムシ、ササキリ、ハヤシノウマオイ、ヤブキリ
高茎草地 (クズ群落含む)	5種	クビキリギス、シブイロカヤキリモドキ、スズムシ、カンタン、ツチイナゴ
中茎草地	8種	トノサマバッタ、ツユムシ、ウスイロササキリ、ホシササキリ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ヒメクサキリ、ヒゲシロスズ
低茎草地・裸地	10種	ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、エンマコオロギ、オンブバッタ、シバスズ、マダラスズ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、ハラヒシバッタ、ノミバッタ
湿性草地	7種	キンヒバリ、ヒメギス、コバネイナゴ、トゲヒシバッタ、ツマグロイナゴ、タンボコオロギ、ヤチスズ
合計	45種	

### a. 樹林

9種が該当した。市街環境に適応したアオマツムシやカネタタキを除き、いずれの種もほぼ大規模樹林にのみ生息していた。

なお、テラニシアリツカコオロギについては、生態に関して十分な知見がないことから、確認した場所(豊島園、都立大泉中央公園)からここに分類した。

### b. 林縁

7種が該当した。調査地以外で確認したヤブキリを除き、全てが大規模樹林でのみ確認した。これは、林縁環境やマント群落のような植生構造が、小さな樹林では管理が行き届くことなどから成立しにくく、大きな樹林の一部にしか見出せなかったためと考える。

### c. 高茎草地

この環境にはクズ群落も含めた。

5種が該当した。クビキリギスが、比較的区内に広く分布するが、シブイロカヤキリモドキとツチイナゴは都立光が丘公園のバードサンクチュアリ内でのみ確認した。スズムシやカンタンについては、人為的な導入の可能性が高い。

#### **d. 中茎草地**

8種が該当した。16調査地で確認したショウリョウバッタを除くと、大規模公園内などのまとまった草地でのみ確認した種が多い。ただし、小作原広場では、ツユムシやホシササキを小規模緑地では唯一確認し、ショウリョウバッタ、ウスイロササキ、トノサマバッタなども確認した。面積は小さいものの、良好な中茎の草地環境が成立していると考えられる。

#### **e. 低茎草地・裸地**

10種が該当した。区内のほぼ全てで確認したカネタタキやオンブバッタなどが含まれている。芝地のような低茎草地を好むマダラスズ、シバズも確認箇所数が多いためにここに含めた。

裸地を好む種としては、ハラヒシバッタは15調査地で確認しており、比較的区内に広く分布していることから上記の「市街地」にも含められると考える。一方、ノミバッタは4箇所のみでの確認であった。

#### **f. 湿った草地**

7種が該当した。ほとんどが都立光が丘公園か都立石神井公園でのみ確認した種であり、分布が限られている。

### ③チョウ類

#### A. 科別出現傾向

チョウ類は、9科45種を確認した。以下に、科ごとの出現傾向をまとめる。

##### a. セセリチョウ科

4種を確認した。

市街地にも見られるイチモンジセセリを26箇所を確認した、区内にも広く分布することが把握された。その他の種も9～11箇所を確認した。このうち、キマダラセセリは、大規模緑地では9箇所中7箇所を確認したが、小規模では2箇所（八幡神社、土支田・谷原ルート）のみであった。

##### b. アゲハチョウ科

9種を確認した。

市街地にも見られるナミアゲハは29箇所、クロアゲハは30箇所、アオスジアゲハは25箇所を確認し、区内にも広く分布することが把握された。

一方で、近年分布を広げているナガサキアゲハを17箇所、ジャコウアゲハを5箇所を確認した。今後も拡大する可能性がある。

##### c. シロチョウ科

5種を確認した。

キチョウ、スジグロシロチョウ、モンシロチョウは市街地に適応した種であり、それぞれ23箇所、21箇所、23箇所を確認したが、草地性であるモンキチョウは9箇所、ツマキチョウは3箇所のみ記録であった。ツマキチョウについては、調査時期が5月以降の地点が多かったことから、確認が困難であったと考えられる。

##### d. シジミチョウ科

10種を確認した。

ヤマトシジミを全ての調査地で確認し、区内全域に分布していることが把握された。次いで、ベニシジミを12箇所、ムラサキシジミを11箇所を確認した。

雑木林に生息するゼフィルス<sup>※3</sup>の一種であるミズイロオナガシジミは、都立石神井公園で確認したほか、豊島園でもヒアリングにより生息情報を得た。同じくゼフィルス<sup>※66</sup>の一種であるアカシジミについては、都立石神井公園でのヒアリングで生息情報を得たが、調査員による確認は出来なかった。ハンノキ林に生息するミドリシジミは、都立石神井公園の水辺観察園などで確認した。

林縁環境に生息するウラギンシジミ1種を10箇所を確認したが、多くが「大規模樹林」での確認であった。

近年分布を広げているムラサキツバメも都立光が丘公園、区立武蔵関公園、MO氏邸の3箇所を確認した。今後、区内でも分布を広げる可能性がある。

※66 ゼフィルス：zephyrus。シジミチョウ科ミドリシジミ亜科ミドリシジミ族に含まれるチョウ類の総称。日本には25種が生息する。

#### e. テングチョウ科

テングチョウ 1 種を都立石神井公園で確認した。6 月に 1 回のみの記録である。

#### f. マダラチョウ科

アサギマダラ 1 種を、都立光が丘公園と白子川流域の 2 箇所を確認した。白子川流域では、ミズヒマワリに多数飛来していた。

#### g. タテハチョウ科

11 種を確認した。

林縁環境を好むコムスジを 26 箇所を確認し、区内に広く分布していることが把握された。これは区内に点在する雑木林などが生息環境として維持されているためと考えられる。

都 RL（区部）の記載種であるイチモンジチョウを、都立石神井公園でのみ確認した。本種は平成 20～21 年の両年で確認しており、個体数は少ないものの公園内で繁殖していると考えられる。

要注意外来生物であるアカボシゴマダラを、14 箇所を確認した。今後も分布が広がる恐れがあり、引き続いてのモニタリングが必要と考える。また、近年分布を広げているツマグロヒョウモンは、26 箇所を確認した。すでに区内でも広く分布していることが把握された。

#### h. ジャノメチョウ科

4 種を確認した。

ヒメジャノメを 22 箇所、サトキマダラヒカゲを 16 箇所を確認し、両種ともに区内の樹林地を中心に広く分布していることが把握された。

近年分布を広げているクロコノマチョウは、4 箇所を確認した。今後も区内でも分布を広げる可能性がある。

一方で、杉並区の第 5 次自然環境調査で記録のあるジャノメチョウやヒメウラナミジャノメは確認できなかった。両種ともに明るい草地を好むことから、区内においてそのような草地環境が減少していることが示唆される。

## B. 生息環境別にみた生息傾向

「日本のチョウ」(1981)による生息環境の区分を参考に、本調査で確認した種を区分した。これを表IV-2-14~15に示した。

表IV-2-14 確認したチョウ類の生息環境別区分

生息環境	種数	主な該当種
市街地内の草地など 開けた環境に生息	14種	イチモンジセセリ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、キアゲハ、ツマグロヒョウモン、ヒメアカタテハ、ウラナミシジミなど
市街地内の樹林環境 に生息	19種	ナミアゲハ、キチョウ、ルリシジミ、コムスジ、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、ヒメジャノメなど
雑木林やその周辺な どに生息	9種	キマダラセセリ、カラスアゲハ、ツマキチョウ、ミズイロオナガシジミ、ミドリシジミ、ウラギンシジミ、イチモンジチョウなど
常緑のうす暗い樹林 に生息	3種	ムラサキシジミ、ムラサキツバメ、クロコノマチョウ
合計	45種	

### a. 市街地内の草地などの開けた環境

14種が該当した。市街地にも生息する種のうち、特に草地性の種をまとめた。

ヤマトシジミやツマグロヒョウモン、イチモンジセセリ、モンシロチョウなど、区内に広く生息する種がいる一方で、キタテハやツバメシジミのように確認箇所数が少ない種も含まれる。キタテハについては、食草であるカナムグラの生育する草地が区内で減少していることが示唆される。

### b. 市街地内の樹林環境

19種が該当し、区分の中ではもっとも多く種を含んでいる。アゲハチョウ類やコムスジのような林縁を好む種と、ジャノメチョウ類のように林内を好む種が含まれていた。多くの種が区内に広く分布している状況が伺えた。

### c. 雑木林やその周辺など

9種が該当した。区内では比較的良好な環境に生息する種が含まれる。キマダラセセリやカラスアゲハ、ツマキチョウは市街地内でも確認したが、ゼフィルス類、イチモンジチョウについては、都立石神井公園や豊島園など区内の分布が非常に限定されていた。クズの群落などの林縁環境を好むウラギンシジミはここに含めた。

### d. 常緑のうす暗い樹林

3種が該当した。いずれも近年分布を広げている種である。これは、区内の樹林の遷移が進み、コナラやクヌギが中心の落葉広葉樹林(いわゆる雑木林)からシラカシやアラカシなどが中心の常緑広葉樹林に変わっていることも要因と考えられる。

表Ⅳ-2-15 確認したチョウ類の生息環境による区分

生息環境の区分	生息環境						種名	I 北町・田柄エリア						II 豊玉・中村エリア				
	草原	林道や谷筋	林床	林内上部・日だまり	雑木林などの林縁部	集落周辺と耕作地		①	②	③	④	⑤	⑧	①	②	③	④	⑤
								都立光が丘公園	都立城北中央公園	どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	武蔵学園	豊島園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
市街地内の草地など開けた環境に生息							チャバナセセリ	●	●					●				
		■					イチモンジセセリ	●	●	●			●	●	●	●		
							ツバメシジミ	●	●									
							ベニシジミ	●	●		●							
							ヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		■					ミドリヒョウモン											
			■				ジャコウアゲハ					●			●	●		
							キアゲハ	●	●		●			●				
							モンキチョウ	●	●									
							ツマグロヒョウモン	●	●	●	●		●	●	●	●		
							ヒメアカタテハ			●			●					
							キタテハ											
	市街地内の樹林環境に生息		■					ウラナミシジミ			●							
							モンシロチョウ	●	●	●			●	●	●	●		
		■					ダイミョウセセリ	●		●	●							
							クロアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
							ナミアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
		■					モンキアゲハ											
		■					キチョウ	●	●	●	●				●	●		●
		■					ルリシジミ								●			
		■					テングチョウ											
		■					コムラサキ	●										
							アカタテハ											
							アカボシゴマダラ	●	●	●	●				●	●		
							ゴマダラチョウ	●		●					○			●
		■					ルリタテハ	●										
		■					コムスジ	●	○	●	●		●	●	●	●		●
			■				ヒカゲチョウ	●										
			■				サトキマダラヒカゲ	●	○		●	●		●	●			
			■				ヒメジャノメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
	■					アオスジアゲハ	●	●	●	●			●	●	●	●	●	
	■					ナガサキアゲハ	●	●		●			●	●	●		●	
	■					スジグロシロチョウ	●	●						●	●		●	
雑木林やその周辺などに生息		■					アサギマダラ	●										
		■					キマダラセセリ	●	●		●			●	●			
							カラスアゲハ	●						●				
			■				オナガアゲハ											
		■					ツマキチョウ											
		■					ウラギンシジミ	●						●	●	●		●
							ミスイロオナガシジミ											
常緑のうす暗い樹林に生息							ミドリシジミ											
		■					イチモンジチョウ											
							ムラサキツバメ	●						○	●	●		
							ムラサキシジミ	●						○				
						クロノマチョウ	●						○					
	14	21	6	7	30	33	12	31	22	13	15	6	9	17	19	16	2	11

Ⅲ 石神井・関町エリア						Ⅳ 大泉・土支田エリア									ルート							確認箇所数	
①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
都立石神井公園	区立武蔵関公園	東京カトリック神学院	天祖若宮八幡宮	M O 氏邸	石泉愛らんど	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	土支田八幡宮	M U 氏邸	小作原広場	井頭こぶし憩いの森	区立びくに公園	○ 氏畑	練馬駅周辺ルート	城南住宅ルート	田柄川緑道ルート	立野町ルート	土支田・谷原ルート	石神井川流域	白子川流域		
●								●		●	●				●		●						9
●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	26
													●				●						4
●		●				●		●		●	●	●	●		●	●		●					12
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	33
○																						●	2
							●																4
●		●			●	●	●					●		●				●					12
●		●			●	●						●	●	●			●						9
●	●	●			●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	26
●	●	●			●				●	●	●	●	●	●			●		●	●	●	●	14
●														●									2
●					●									●				●		●			6
●	●	●	●		●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	24
●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	28
				●																			1
●	●	●		●		●	●	●				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	23
						●													●	●	●	●	5
●																							1
●	●																	●					4
																						○	1
●	●		●		●		●	●										●					13
●	○						●	●										●	●	●	●		8
●		●					●	●	●									●	●	●	●	●	8
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	25
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	22
●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	24
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21
																						●	2
●	●						●	●										●					10
●		●				●	●						●					●					8
●																							1
		●					●										●	●					4
●	●		●				●					●											10
●																							1
●																							1
●																							1
	●			●																			3
●	●			●			●	●	●									●					11
○			●																				4
37	22	19	11	13	16	19	24	21	8	7	10	14	13	13	11	10	12	19	23	8	16		

●:通常調査での確認 ○:補足調査での確認

### C. 既存資料との比較（「東京都の蝶」1991）

西多摩昆虫同好会による「東京都蝶類分布一覧表」では、都内の市区町村別の分布状況を、確認された年代別に分け、さらに定着種か偶産種かの区分もされている。

この情報をもとに、今回の自然環境調査で確認したチョウ類について、確認された年代から分類したものを表IV-2-16および17に示した。

表IV-2-16 確認したチョウ類の過去の確認状況（文献調査）

確認された年代	定着・偶産	種数	主な該当種
1940年以前に記録あり		1種	ムラサキシジミ
1960年代に記録あり その後記録なし	定着種	7種	アカタテハ、イチモンジチョウ、オナガアゲハ、ミドリシジミ、アサギマダラ、コムラサキ、ジャコウアゲハ
1970年代に記録あり その後記録なし	定着種	1種	チャバネセセリ
1980年以降に記録あり	偶産種	1種	ミドリヒョウモン
	定着種	30種	ミズイロオナガシジミ、カタテハ、ツマキチョウ、ルリタテハ、ダイミョウセセリ、キアゲハ、サトキマダラヒカゲ、スジグロシロチョウ、アオスジアゲハ、ヤマトシジミなど
記載なし		5種	ナガサキアゲハ、ムラサキツバメ、ツマグロヒョウモン、アカボシゴマダラ、クロコノマチョウ
合計			

#### a. 1940年以前に記録あり

ムラサキシジミ 1種が該当した。本種は区内の樹林地を中心に 11 箇所を確認されており、一覧表との差異がある。しかし、「東京都の蝶」のムラサキシジミの記載の中には「80年代に入ってから復活してきた」とあることから、近年もその増加傾向が続いているものと考えられる。

#### b. 1960年代に記録ありその後記録なし

アカタテハやイチモンジチョウなど 7種が該当した。ここに該当する種には、減少傾向にあるものが多く、その動向には注意を要する。

イチモンジチョウやコムラサキは、23 区内では希少であり、都 RL にも記載されている。生息環境の保全とともに、今後のモニタリングが望まれる種である。

オナガアゲハやジャコウアゲハについては、一部放蝶されている可能性がある。ミドリシジミについても、一度絶滅したのちに、放蝶されたとの指摘があり、地域の関係者へのヒアリングなどにより、移入経緯などを確認する必要がある。

アカタテハについては、それほど希少ではないが、数が少ないこと、アサギマダラについては、渡りの途中の個体を確認されるため、このような分布になっていると考えられる。

**c. 1970 年代に記録あり その後記録なし**

チャバネセセリ 1 種が該当した。本種は区内の樹林地など 11 箇所を確認されており、一覧表との差異がある。しかし、「東京都の蝶」のチャバネセセリの記載の中に「暖地性の種」であることが記載されており、ムラサキシジミと同様に近年その分布が変わってきた可能性が考えられる。

**d. 1980 年以降に記録あり**

定着種 30 種、偶産種 1 種が該当した。ここに該当する種は、1980 年代から生息が続いていると考えられる。

本調査でも多くの調査地で確認されている種が多く、一覧表の記載通りに生息が続いている種である。

一方で、テングチョウやミズイロオナガシジミ、モンキアゲハは、1 箇所のみでの確認であり、生息状況の悪化が懸念される。

**e. 記載なし**

ナガサキアゲハやムラサキツバメなど 5 種が該当した。これらはいずれも近年分布を拡大している種である。本調査でも、ツマグロヒョウモンは 26 箇所、ナガサキアゲハが 17 箇所、アカボシゴマダラが 14 箇所を確認されており、区内に定着していることが伺える。

表Ⅳ-2-17 過去に記録のあるチョウ類の確認状況

確認年代	種名	Ⅲ	I	Ⅳ	R	I	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	R
		①	①	②	⑤	②	②	③	②	③	①	④
		都立石神井公園	都立光が丘公園	稲荷山・清水山憩いの森	土支田・谷原ルート	都立城北中央公園	区立武蔵関公園	八の釜憩いの森	豊島園	東京カトリック神学院	都立大泉中央公園	立野町ルート
1949年以前に記録あり	ムラサキシジミ	●	●	●	●		●	●	●			
1960年代に記録あり その後記録なし (定着種)	ジャコウアゲハ			●					●			
	コムラサキ	●	●				●					●
	アサギマダラ		●									
	アカタテハ											
	イチモンジチョウ	●										
	オナガアゲハ	●										
	ミドリシジミ	●										
1970年代に記録あり (定着種)	チャバネセセリ	●	●			●		●				
1980年以降に記録あり(偶産種)	ミドリヒョウモン	○										
1980年以降に記録あり (定着種)	ヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	クロアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ナミアゲハ	●	●	●	●	●	●	●		●	○	●
	イチモンジセセリ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
	コムスジ	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
	アオスジアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
	モンシロチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	キチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヒメジャノメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	スジグロシロチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	サトキマダラヒカゲ	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	
	ヒメアカタテハ	●	●		●	●	●			●	●	
	キアゲハ	●	●	●	●	●				●	●	
	ヒカゲチョウ	●	●	●			●	●		●		●
	ベニシジミ	●	●		●	●		●		●	●	
	ダイミョウセセリ	●	●	●	●			●			●	
	ウラギンシジミ	●	●	●			●		●			
	キマダラセセリ	●	●	●	●	●	●	●	●			
	カラスアゲハ	●	●	●	●				●	●	●	
	モンキチョウ	●	●			●				●	●	●
	ルリタテハ	●	●	●	●			●		●	●	●
	ゴマダラチョウ	●	●	●	●		○		○			
	ウラナミシジミ	●				●						●
	ルリシジミ				●				●		●	
	ツマキチョウ			●	●					●		●
	ツバメシジミ		●			●						●
	キタテハ	●										
	テングチョウ	●										
ミズイロオナガシジミ	●											
モンキアゲハ												
記載なし	ツマグロヒョウモン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ナガサキアゲハ	●	●	●		●	●	●		●	●	●
	アカボシゴマダラ	●	●	●		●	●	●	●			●
	クロノマチョウ	○	●									
	ムラサキツバメ		●				●					
		45	37	31	24	23	22	22	21	19	19	19

※調査地の順番は、確認種数の多い順に左から並べ直した。

※種の順は、確認年代ごとに、確認箇所数の多い順に上から並べ直した。

Ⅲ	Ⅱ	R	I	Ⅳ	I	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	R	Ⅱ	Ⅲ	R	Ⅳ	R	I	Ⅳ	R	Ⅳ	I	Ⅱ	確認箇所数	
⑥	③	⑦	④	⑦	③	⑧	⑨	⑤	③	⑤	④	①	⑥	②	⑧	④	⑥	⑤	⑤	④		
石泉愛らんど	廣徳寺・区立高稲荷公園	白子川流域	八幡神社	井頭こぶし憩いの森	どんぐり山憩いの森	区立びくに公園	○氏畑	MO氏邸	田柄川緑道ルート	N氏邸	天祖若宮八幡宮	練馬駅周辺ルート	小作原広場	城南住宅ルート	高松市民農園	土支田八幡宮	石神井川流域	MU氏邸	U氏邸	氷川神社		
	●							●								●					11	
	●																		●		4	
																					4	
		●																			2	
		○																			1	
																					1	
																					1	
									●			●	●						●		9	
		●																			2	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	33
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	28
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	26
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	25
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	24
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	24
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	23
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	22
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16
●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14
●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8
				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9
					●					●											●	8
					●					●											●	8
●					●			●			●										●	6
		●																			●	5
																					●	4
						●																4
							●															2
								●														1
									●													1
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	26
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13
											●											4
								●			●											3
16	16	16	15	14	13	13	13	13	12	11	11	11	10	10	9	8	8	7	6	2		

●:通常調査での確認 ○:補足調査での確認

### 3) 重要種の保全

都 RL の絶滅危惧 I 類以上であった 7 種を対象に考察した。

#### ①オオアメンボ（絶滅危惧 I A 類 GR）

本種の生息環境はうす暗い止水域であり、選好環境である武蔵学園および八の釜憩いの森では、複数個体が生息していたことから、定着していたと考えられる。

一方、都立石神井公園では 5 月と 8 月に断片的に記録されているのみであり、定着はしていないと考えられた。しかし、このような水辺環境を点在化することで、飛翔能力を持つ本種が生息適地間を移動できる可能性が考えられる。

#### ②ウバタマムシ（絶滅危惧 I A 類 GR）

本種の幼虫はアカマツの枯れ木を食樹とする。生息を確認した都立石神井公園において、アカマツの伐採などの際、その枝や幹などを敷地内に残置することが、本種の保全のひとつとなる。

#### ③キイトンボ（絶滅危惧 I B 類 EN）

都立光が丘公園のバードサンクチュアリのみで確認した。複数年確認したことから、この地で繁殖していると考えられる。しかし、観察した個体数が少ないことから、現状の管理を維持するとともに、本種の選好する抽水植物の繁茂する空間をより拡大することが望まれる。

#### ④アオヤンマ（絶滅危惧 I B 類 EN）

都立石神井公園の水辺観察園のみで確認した。本種の一般的な生息環境は、開放水面を持つ抽水植物の豊かな池沼であることから、水辺観察園とそれに隣接する沼沢植物群落の保全が望まれる。

#### ⑤ヨツボシトンボ（絶滅危惧 I B 類 EN）

平成 21 年 5 月に都立光が丘公園バードサンクチュアリで確認した。都立光が丘公園バードサンクチュアリの記録によると、平成 20 年、同 23 年にも確認されていることから、池から毎年発生している可能性が高い。

本種の一般的な生息環境は、開放水面を持つ抽水植物の豊かな池沼であることから、バードサンクチュアリ内の現状の管理を維持するとともに、本種の選好する抽水植物の繁茂する空間をより拡大することが望まれる。

#### ⑥ヒメトラハナムグリ（絶滅危惧 I B 類 EN）

豊島園、区立武蔵関公園、清水山憩いの森で確認した。本種の生態に関する一般的な知見は非常に乏しい。成虫は花の花粉を、幼虫は朽木を食べることから、草地や林縁のような開けた環境と、倒木などの残る林床環境を維持することが重要と予測される。

#### ⑦クロカナブン（絶滅危惧 I B 類 EN）

本種は調査地外の南田中憩いの森でのみ確認した。都立石神井公園や都立光が丘公園のような大規模樹林で確認できなかった原因は不明であるが、区内の個体数は非常に少ないと推測される。

本種が好む雑木林の保全とともに、モニタリング調査によりその個体数の動向を把握することが望まれる。

#### 4) 各調査地点のまとめ

### I 北町・田柄エリア

#### I ① 都立光が丘公園

- ・確認種：394種（トンボ類 28種 バッタ類 35種 チョウ類 34種）
- ・重要種：都 RL：キイトトンボ（EN）、オニヤンマ（NT）、ヨツボシトンボ（EN）、チョウトンボ（NT）、マイコアカネ（NT）、ミヤマアカネ（VU）、リスアカネ（NT）、シブイロカヤキリ（DD）、キンヒバリ（DD）、ヒゲシロスズ（DD）、ヤチスズ（DD）、ショウリョウバッタモドキ（VU）、ツマグロバッタ（DD）、ヒグラシ（NT）、ンボシハネカクシ（VU）、ヒラタクワガタ（VU）、ヤマトタマムシ（NT）、キスジトラカミキリ（VU）、コムラサキ（\*）、オオミズアオ（VU）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、プラタナスグンバイ、アワダチソウグンバイ、コルリアトキリゴミムシ、ラミーカミキリ、ブタクサハムシ、セイヨウミツバチ、アメリカミズアブ、スイセンハナアブ

トンボ類では、区内で唯一キイトトンボ、オニヤンマ、ヨツボシトンボ、ネキトンボを確認した。いずれもバードサンクチュアリの中の池か、その周辺の草地であった。

バッタ類では、区内で 34 種と最も多く確認した。マダラカマドウマ、シブイロカヤキリモドキとツマグロイナゴ、ツチイナゴ、トゲヒシバッタは区内で唯一の記録である。バードサンクチュアリとその周辺の草地での記録が多いほか、樹林内や林縁部では、マダラカマドウマやセスジツユムシ、ハヤシノウマオイなどを確認した。

チョウ類では、ベニシジミやモンキチョウなどの草地性種、ヒカゲチョウやヒメジャノメ、サトキマダラヒカゲなどの樹林性類を確認した。

#### I ② 都立城北中央公園

- ・確認種：182種（トンボ類 6種 バッタ 16種 チョウ類 22種）
- ・重要種：都 RL：コハンミョウ（NT）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、プラタナスグンバイ、アワダチソウグンバイ、ヨコヅナサシガメ、コルリアトキリゴミムシ、セイヨウミツバチ、スイセンハナアブ

トンボ類は、水辺がサービスセンター裏の小規模な池に限られているため、種数は少なかった。クロスジギンヤンマは樹林の樹冠が開けた部分の上空で確認した。

バッタ類は、草地ではツユムシやウスイロササキリ、クビキリギスなど、樹林地では、ウスグモスズやアオマツムシを確認した。

チョウ類では、草地性の種が多く、キアゲハやモンキチョウ、ツバメシジミ、ウラナミシジミ、ベニシジミなどを確認した。一方、樹林性の種では、サトキマダラヒカゲを確認したが、ムラサキシジミやヒカゲチョウなどが確認できないなど、他の大規模樹林に比べるとやや多様性に欠けていた。

### I ③ どんぐり山憩いの森

- ・確認種：32種（トンボ類3種、バッタ類3種、チョウ類13種）
- ・重要種：都 RL：リスアカネ（NT）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アメリカミズアブ

トンボ類は、水辺がないために種数は少ないが、リスアカネを確認した。  
バッタ類は、樹林性のアオマツムシ、カネタタキと草地性のオンブバッタのみであった。  
チョウ類は、樹林性および半樹林性の種と、普通種とで構成されていた。

### I ④ 八幡神社

- ・確認種：42種（トンボ類2種、バッタ類5種、チョウ類15種）
- ・重要種：都 RL：ヒグラシ（NT）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ

トンボ類では、普通種であるウスバキトンボ、ナツアカネのみ確認した。  
バッタ類では、普通種であるカネタタキやオンブバッタのほか、イボバッタを確認した。  
チョウ類では、草地性のキアゲハやベニシジミ、樹林性のコムスジ、ヒメジャノメ、サトキマダラヒカゲなどを確認した。

### I ⑤ U氏邸

- ・確認種：28種（トンボ類2種、バッタ類2種、チョウ類6種）
- ・重要種：都 RL：オオミズアオ（VU）、ヒグラシ（NT）
- ・外来種：アオマツムシ

トンボ類では、普通種であるナツアカネ、ノシメトンボのみを確認した。  
バッタ類では、樹林に普遍的なカネタタキやアオマツムシのみを確認した。  
チョウ類では、普通種のほか、樹林性のヒメジャノメ、サトキマダラヒカゲを確認した。

### I ⑧ 高松市民農園

- ・確認種：55種（トンボ類3種、バッタ類11種、チョウ類9種）
- ・重要種：都 RL：コハンミョウ（NT）
- ・外来種：アメリカミズアブ

トンボ類は、普通種であるシオカラトンボ、ウスバキトンボ、ナツアカネを確認した。  
バッタ類では、普通種が多いが、大型のトノサマバッタやクルマバッタモドキ、裸地を好むノミバッタなども確認した。  
チョウ類では、開けた環境に普遍的に生息する種が多いが、樹林・林縁性のコムスジやヒメジャノメも確認した。

## II 豊玉・中村エリア

### II① 武蔵学園

- ・確認種：165種（トンボ類4種、バッタ類14種、チョウ類17種）
- ・重要種：都 RL：オオアメンボ（CR）
- ・外来種：アオマツムシ、アワダチソウグンバイ、ヨコヅナサシガメ、クモガタテントウ、ブタクサハムシ、セイヨウミツバチ

トンボ類は、普通種であるオオシオカラトンボやウスバキトンボなど4種を確認した。敷地内には流れや池などの水辺環境が存在するが種数は少なかった。

バッタ類では、普通種が多いが、樹林性のウスグモスズやサトクダマキモドキ、林縁性のセスジツコムシ、草地性のウスイロササキリやクビキリギスなどを確認した。

チョウ類では、普通種の他に、樹林性のムラサキシジミやサトキマダラヒカゲを確認した。一方、草地性のモンキチョウやベニシジミなどは確認できなかった。

### II② 豊島園

- ・確認種：162種（トンボ類7種、バッタ類14種、チョウ類19種）
- ・重要種：都 RL：ハグロトンボ（VU）、チョウトンボ（NT）、ヒゲシロスズ（DD）、ヒグラシ（NT）、ヒラタクワガタ（VU）、ヒメトラハナムグリ（EN）、センノカミキリ（VU）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アワダチソウグンバイ、クモガタテントウ、アメリカミズアブ

トンボ類では、普通種のほか、石神井川沿いの樹林と庭の湯周辺林でハグロトンボが、庭の湯周辺林でチョウトンボを確認した。ハグロトンボは6～7月に確認し、石神井川で発生したと考えられる。チョウトンボは、区内では他には都立光が丘公園と都立石神井公園でのみ確認しており、いずれかの水辺から移動してきた可能性がある。

バッタ類では、樹林性のウスグモスズ、サトクダマキモドキを確認した。また、重要種ではないが、テラニシアリツカオオロギが石神井川沿い樹林の林床で、ヒゲシロスズが庭の湯周辺林で確認した。一方で、草地性のショウリョウバッタやコバネイナゴなどは確認できなかった。

チョウ類では、普通種の他に、樹林性のムラサキシジミやゴマダラチョウ、サトキマダラヒカゲを確認した。近年、分布を広げているクロコノマチョウも確認した。一方で、草地性のキアゲハやモンキチョウ、ベニシジミなどは確認できなかった。なお、現場の方によるとミズイロオナガシジミが生息しているとのことであった。

このほか、コウチュウ目では、ヒラタクワガタやヒメトラハナムグリをアジサイ園で、センノカミキリを石神井川沿いの樹林で確認した。

### II③ 廣徳寺・区立高稲荷神社

- ・確認種：52種（トンボ類5種、バッタ類4種、チョウ類17種）
- ・重要種：都RL：マイコアカネ（NT）、ヒグラシ（NT）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アメリカミズアブ

トンボ類では、普通種のほか、マイコアカネを確認した。

バッタ類では、種数が少なかった。樹上に普通にいるアオマツムシ、カネタタキのほかは、イボバッタやハラヒシバッタのような裸地を好む種を確認した。

チョウ類では、普通種の他に、樹林性のムラサキシジミや林縁性のウラギンシジミを確認した。一方で、草地性のモンキチョウやベニシジミなどは確認できなかった。

このほか、セミ類ではヒグラシを廣徳寺と高稲荷公園の両地点で確認した。

### II④ 氷川神社

- ・確認種：22種（トンボ類なし、バッタ類3種、チョウ類2種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：なし

トンボ類は確認できなかった。

バッタ類、チョウ類も普通種のみ確認した。その他の種群でも全体的に種数は少なかったが、敷地内の樹洞にニホンミツバチの巣を確認した。

### II⑤ N氏邸

- ・確認種：40種（トンボ類なし、バッタ類2種、チョウ類11種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：なし

トンボ類は確認できず、バッタ類もカネタタキとオンブバッタのみと少なかった。

チョウ類は、普通種が多いが、樹林性のゴマダラチョウや、林縁性のウラギンシジミも確認した。

このほか、地上性のコカマキリを確認した。

### Ⅲ 石神井・関町エリア

#### Ⅲ① 都立石神井公園

- ・確認種：355 種（トンボ類 25 種、バッタ類 26 種、チョウ類 37 種）
- ・重要種：国 RL：エサキアメンボ（NT）  
都 RL：アオヤンマ（EN）、シオヤトンボ（VU）、チョウトンボ（NT）、マイコアカネ（NT）、キンヒバリ（DD）、ヤチスズ（DD）、タンボコオロギ（DD）、ヒグラシ（NT）、オオアメンボ（CR）、エサキアメンボ（DD）、ウバタマムシ（CR）、ヤマトタマムシ（NT）、ハッカムシ（DD）、オナガアゲハ（CR+EN）、ミズイロオナガシジミ（\*）、ミドリシジミ（DD）、コムラサキ（\*）、イチモンジチョウ、オオミズアオ（VU）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アワダチソウグンバイ、ヨコヅナサシガメ、セイヨウミツバチ、アメリカミズアブ、スイセンハナアブ

トンボ類では、区内では少ないイトトンボ類や、アオヤンマ、マルタンヤンマ、ヤブヤンマなどのヤンマ類を確認した。抽水植物の豊富な池と、その池が樹林と隣接していることがその要因になっていると考えられる。

バッタ類では、普通種の他に、水辺を好むヤチスズやキンヒバリ、樹林性のウスグモスズ、サトクダマキモドキを確認した。また、重要種ではないが、ヒメクサキリとササキリを区内で唯一、林床のササ藪で確認した。区内では 2 箇所でのみと少ないハヤシノウマオイも同様の場所で確認した。

チョウ類では、37 種を確認し、区内では最多であった。主に樹林性・林縁性の種が多いが、湿地性のコムラサキなども確認している。都 RL（区部）で情報不足（DD）と記載されているイチモンジチョウについては、今後のモニタリングが必要である。なお、都 RL（区部）に記載されているオナガアゲハは、移入の可能性が高い。三宝寺池のハンノキ林で確認したミドリシジミについても同様の可能性があり、今後の調査が必要である。

このほか、アメンボ科では国 RL 記載種のエサキアメンボや都 RL 記載種のアオアメンボを確認した。また、コウチュウ目ではタマムシ類 2 種が都 RL（区部）記載種であり、水辺環境・樹林環境ともに貴重な生息環境であるといえる。

#### Ⅲ② 区立武蔵関公園

- ・確認種：185 種（トンボ類 12 種、バッタ類 13 種、チョウ類 22 種）
- ・重要種：都 RL：ヒグラシ（NT）、ヒメトラハナムグリ（EN）、コムラサキ（\*）、オオミズアオ（VU）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
クロゴキブリ、アオマツムシ、プラタナスグンバイ、アワダチソウグンバイ、アメリカミズアブ

トンボ類では、都立石神井公園、都立光が丘公園に次いで区内で 3 番目の種数を確認した。重要種はいないものの、区内では 2～3 箇所でのみ確認しているクロイトトンボやモノサシトンボも見られ、区内の主要な生息空間になっているといえる。

バッタ類では、いわゆる普通種が多いものの、区内では3箇所でのみ確認しているヤマトヒバリが「松の島」で見られたほか、林縁性のセスジツユムシも「葦の島」で見られた。

チョウ類では、普通種のほか、樹林性のゴマダラチョウ、林縁性のウラギンシジミなども確認した。また、都 RL（区部）で留意種になっているコムラサキも確認した。

このほか、都 RL（区部）で絶滅危惧 IB 類になっているヒメトラハナムグリは、公園外周の任意調査中に確認した。

### Ⅲ③ 東京カトリック神学院

- ・確認種：49種（トンボ類2種、バッタ類8種、チョウ類19種）
- ・重要種：都 RL：ヒグラシ（NT）、ノコギリクワガタ（NT）
- ・外来種：なし

トンボ類では、普通種であるウスバキトンボ、アキアカネのみを確認した。

バッタ類では、普通種が多いが、樹林性のサトクダマキモドキや、裸地を好むイボバッタも確認した。

チョウ類では、草地性のキアゲハ、ツマキチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、林縁性のカラスアゲハ、樹林性のヒカゲチョウやサトキマダラヒカゲなど多様な環境を好む種を確認した。上記の樹林性の種のほか、都 RL（区部）記載種のヒグラシやノコギリクワガタを確認していることから、敷地内の樹林地が貴重な生息空間になっていると考えられる。

### Ⅲ④ 天祖若宮八幡宮

- ・確認種：33種（トンボ類2種、バッタ類2種、チョウ類11種）
- ・重要種：都 RL：ヒグラシ（NT）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ

トンボ類では、普通種であるウスバキトンボ、コシアキトンボのみ確認した。

バッタ類では、樹林地の普通種であるアオマツムシ、カネタタキのみ確認した。

チョウ類では、普通種のなかでも樹林性・林縁性の種が多く、ウラギンシジミやヒカゲチョウも確認した。また、近年分布を拡大しているクロコノマチョウも確認した。

上記のほか、都 RL（区部）記載種のヒグラシを確認した。敷地内の針葉樹林が本種の好む環境であり、貴重な生息空間になっていると考えられる。

### Ⅲ⑤ MO氏邸

- ・確認種：43種（トンボ類4種、バッタ類2種、チョウ類13種）
- ・重要種：都 RL：ヒグラシ（NT）
- ・外来種：アオマツムシ、アメリカミズアブ

トンボ類では、樹林地などで普通種であるコシアキトンボ、コノシメトンボ、ノシメトンボなどを確認した。

バッタ類では、樹林地の普通種であるアオマツムシ、カネタタキのみ確認した。

チョウ類では、樹林性の種が多く、やや暗い樹林を好むムラサキシジミやムラサキツバメも

確認した。また、区内で唯一モンキアゲハを確認した。

古木で確認したオオキノコムシ科の3種はいずれも区内ではこの調査地のみで確認した。

### Ⅲ⑥ 石泉愛らんど

- ・ 確認種：43種（トンボ類4種、バッタ類6種、チョウ類16種）
- ・ 重要種：都 RL：コハンミョウ（NT）
- ・ 外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アメリカミズアブ

トンボ類では、開けた環境での普通種であるウスバキトンボ、ナツアカネ、アキアカネなどを確認した。

バッタ類では、ほとんどが普通種であったが、草地性のクビキリギスも含まれていた。

チョウ類では、普通種が多くを占めたが、開けた環境を好むキアゲハやウラナミシジミ、樹林性のヒカゲチョウも確認した。キアゲハは畑地のニンジンに、ウラナミシジミは豆類に誘引されたと考えられる。

## IV 大泉・土支田エリア

### IV① 都立大泉中央公園

- ・確認種：161種（トンボ類4種、バッタ類11種、チョウ類22種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：アオマツムシ、アワダチソウゲンバイ、ヨコヅナサシガメ、ブタクサハムシ、セイヨウミツバチ

トンボ類では、区内で普通種であるシオカラトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、ノシメトンボの4種を確認した。

バッタ類では、いわゆる普通種が多いが、樹林性のウスグモスズを確認した。また、重要種ではないが、区内では2箇所でのみ確認したテラニシアリツカコオロギを確認した。

チョウ類では、草地性のキアゲハやベニシジミ、樹林性のムラサキシジミやゴマダラチョウ、林縁性のウラギンシジミを確認し、多様性が伺える。

### IV② 稲荷山憩いの森・清水山憩いの森

- ・確認種：264種（トンボ類6種、バッタ類11種、チョウ類24種）
- ・重要種：都 RL：オニヤンマ（NT）、マイコアカネ（NT）、ヒゲシロスズ（DD）、ヒグラシ（NT）、シマアメンボ（NT）、ヒメトラハナムグリ（EN）、ヤマトタマムシ（NT）、センノカミキリ（VU）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アワダチソウゲンバイ、ヨコヅナサシガメ、クモガタテントウ、セイヨウミツバチ、スイセンハナアブ

確認種数では、200種を超え、区内の調査地点では3番目の種数である。

トンボ類では、普通種の他に、稲荷山憩いの森でマイコアカネを、清水山憩いの森の湧水でオニヤンマの幼虫を確認した。

バッタ類では、樹林性のウスグモスズを清水山憩いの森で、林縁性のセスジツユムシを稲荷山憩いの森で、裸地を好むノミバッタを清水山憩いの森で確認した。

チョウ類では、普通種が多いが、樹林性のムラサキシジミやゴマダラチョウ、ヒカゲチョウ、林縁性のウラギンシジミのほか、草地性のツマキチョウやベニシジミも確認した。本調査地はほとんどが樹林地であるが、敷地内の辺縁部にあるわずかな草地が利用されていた。

### IV③ 八の釜憩いの森

- ・確認種：142種（トンボ類6種、バッタ類8種、チョウ類21種）
- ・重要種：都 RL：ハグロトンボ（VU）、マイコアカネ（NT）、シマアメンボ（NT）、オオアメンボ（CR）、ヒラタクワガタ（VU）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ、アワダチソウゲンバイ、セイヨウミツバチ、アメリカミズアブ

トンボ類では、普通種のほかに、流水を好むハグロトンボを確認した。敷地内の水路の存在や、近くに白子川が流れているためと考えられる。

バッタ類では、普通種のほか、樹林性のサトクダマキモドキやイネ科植物を好むコバネイナゴを確認した。

チョウ類では、普通種のほか、樹林性のムラサキシジミやヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲを確認した。草地性のベニシジミも確認したが、これは隣接する区立びくに公園から飛来したものと考えられる。

その他の種群では、アメンボ類が6種と多く、区内でも特に多様なアメンボ相を形成している。

#### IV④ 土支田八幡宮

- ・確認種：27種（トンボ類なし、バッタ類3種、チョウ類8種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：アオマツムシ、アメリカミズアブ

トンボ類は、確認できなかった。

バッタ類でも、アオマツムシ、カネタタキ、オンブバッタと普遍的な種のみを確認であった。

チョウ類では、普通種がほとんどであったが、樹林性のムラサキシジミやヒカゲチョウを確認した。

その他の種群では、小規模緑地で唯一、アミガサハゴロモやアオオサムシを確認した。これは、大規模緑地である稻荷山憩いの森に隣接していることが要因と考えられる。

#### IV⑤ MU氏邸

- ・確認種：35種（トンボ類なし、バッタ類10種、チョウ類7種）
- ・重要種：都 RL：ヤマトタマムシ（NT）、ノコギリカミキリ（NT）
- ・外来種：アオマツムシ

トンボ類は、確認できなかった。

バッタ類では、竹林内で樹林性のウスグモスズヤ、隣接した畑地で草地性のウスイロササキリやクビキリギスを確認した。

チョウ類では、普通種がほとんどであるが、林内でヒカゲチョウを確認した。

その他の種群では、都 RL（区部）の記載種であるヤマトタマムシやノコギリカミキリを確認した。特にノコギリカミキリは、区内では、区内で唯一の記録である。ただし、本調査地の環境を特に好んでいるよりは、本種は夜行性であることから、偶発的に確認したものと考えられる。

#### IV⑥ 小作原広場

- ・確認種：37種（トンボ類1種、バッタ類10種、チョウ類10種）
- ・重要種：都 RL：オオミズアオ（VU）
- ・外来種：なし

トンボ類では、開けた空間を好むウスバキトンボのみ確認した。

バッタ類では、ツユムシやウスイロササキリ、ホシササキリ、クビキリギス、トノサマバッタなど草地性の種を多く確認した。

チョウ類では、普通種のほかには、草地性のベニシジミを確認した。

#### IV⑦ 井頭こぶし憩いの森

- ・確認種：46種（トンボ類3種、バッタ類6種、チョウ類14種）
- ・重要種：都RL：ヒグラシ（NT）
- ・外来種：アメリカミズアブ

トンボ類では、普通種であるオオシオカラトンボ、ウスバキトンボ、コノシメトンボのみ確認した。

バッタ類では、カネタタキやオンブバッタのような普遍的のほか、やや裸地的な環境を好むクルマバッタモドキも確認した。

チョウ類では、普通種のほか、草地性のキアゲハやモンキチョウ、樹林性のヒカゲチョウなども確認し、比較的多様な種構成であった。

#### IV⑧ 区立びくに公園

- ・確認種：102種（トンボ類4種、バッタ類15種、チョウ類13種）
- ・重要種：都RL：ショウリョウバッタモドキ（VU）
- ・外来種：アワダチソウゲンバイ、ブタクサハムシ、セイヨウミツバチ

トンボ類では、アジアイトトンボを確認した。付近で発生したと考えられるが、明確な場所は特定できなかった。区内での確認場所は、都立光が丘公園、都立石神井公園のみであり、貴重な生息環境のひとつである。

バッタ類では、ツユムシやウスイロササキリ、クビキリギス、トノサマバッタ、ショウリョウバッタモドキなど草地性の種を多く確認した。

チョウ類では、普通種のほか、モンキチョウやツバメシジミ、ベニシジミといった草地性の種を確認した。

その他の種群では、チビゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウといったゲンゴロウ類を区内で唯一確認した。

#### IV⑨ ○氏畑

- ・確認種：32種（トンボ類1種、バッタ類5種、チョウ類13種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：アオマツムシ、アワダチソウゲンバイ

トンボ類では、開けた空間を好むウスバキトンボを確認した。

バッタ類では、ツヅレサセコオロギやカネタタキ、オンブバッタといった、普通種のみ確認した。

チョウ類では、開けた環境を好むキアゲハやモンキチョウ、ウラナミシジミ、キタテハなどのほか、林縁を好むカラスアゲハなども確認した。キアゲハについては、畑地のニンジンに、ウラナミシジミについては豆類に誘引されたと考えられる。

その他の種群では、カキノヘタムシガを区内で唯一記録した。

## ルートおよび流域

### R① 練馬駅周辺ルート

- ・確認種：28種（トンボ類2種、バッタ類3種、チョウ類11種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：プラタナスグンバイ、ヨコヅナサシガメ

トンボ類では、普通種のシオカラトンボ、ウスバキトンボのみ確認した。

バッタ類では、普通種のエンマコオロギ、カネタタキ、オンブバッタのみ確認した。

チョウ類では、ナミアゲハやヤマトシジミなどの普通種がほとんどであるが、草地性のベニシジミも確認した。また、近年分布を拡大しているナガサキアゲハも確認した。

### R② 城南住宅ルート

- ・確認種：31種（トンボ類2種、バッタ類6種、チョウ類10種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：アオマツムシ

トンボ類では、普通種のシオカラトンボ、オオシオカラトンボのみ確認した。

バッタ類では、普通種のアオマツムシやカネタタキ、オンブバッタのほか、低茎草地を好むマダラスズも確認した。

チョウ類では、ナミアゲハやヤマトシジミなどの普通種がほとんどであるが、草地性のベニシジミも確認した。またうす暗い場所を好むヒメジャノメも確認した。

### R③ 田柄川緑道ルート

- ・確認種：32種（トンボ類なし、バッタ類3種、チョウ類12種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：ヨコヅナサシガメ、キマダラカメムシ

トンボ類は、確認できなかった。

バッタ類では、普通種のカネタタキ、オンブバッタのほか、草地を好むショウリョウバッタも確認した。

チョウ類では、ナミアゲハやヤマトシジミなどの普通種がほとんどであるが、樹林性のサトキマダラヒカゲも確認した。

このほか、キマダラカメムシは本調査地のみでの記録であった。「日本原色カメムシ図鑑(1993)」では、分布は九州までとなっており、近年分布を広げていると考えられる。

#### R④ 立野町ルート

- ・確認種：62種（トンボ類6種、バッタ類9種、チョウ類19種）
- ・重要種：都RL：マイコアカネ（NT）、コムラサキ（\*）
- ・外来種：要注意外来生物：アカボシゴマダラ  
アオマツムシ

確認種数は、ルート調査地の中では最大である。これは、ルート上に区立立野公園や屋敷林があるためと考えられる。

トンボ類では、普通種5種のほかに、マイコアカネを確認した。比較的種数が多いのは、区立立野公園内に池があり、トンボ類の発生場所になっているためと考えられる。

バッタ類では、市街地でも普通種のカネタタキ、オンブバッタなどのほか、高茎草地を好むクビキリギスも確認した。

チョウ類では、ナミアゲハやヤマトシジミなどの普通種のほか、草地性のツマキチョウやモンキチョウ、ツバメシジミ、ウラナミシジミ、樹林性のヒカゲチョウ、湿地性のコムラサキを確認し、多様な種構成であった。

その他の種群では、ゴマダラカミキリとビロウドツリアブは、区内で唯一の記録である。ただし、ビロウドツリアブについては、補足調査での記録であることと、今回設定した調査期では発生期にあたっていないことがその原因と考えられる。

#### R⑤ 土支田・谷原ルート

- ・確認種：56種（トンボ類2種、バッタ類7種、チョウ類23種）
- ・重要種：なし
- ・外来種：アメリカミズアブ

確認種数は、ルート調査地の中では立野町ルートに次いで、2番目に多い。

トンボ類では、アキアカネとノシメトンボの普通種のみ確認した。

バッタ類では、市街地でも普通種のカネタタキ、オンブバッタなどのほか、裸地的環境を好むクルマバッタモドキも確認した。

チョウ類は、確認種数も比較的多かった。これは普通種のほか、草地性のツマキチョウやベニシジミ、ルリシジミ、林縁性のカラスアゲハ、樹林性のムラサキシジミ、ゴマダラチョウやサトキマダラヒカゲなど、多様な選好性をもつ種を確認したためである。

#### R⑥ 石神井川流域

- ・確認種：17種（トンボ類3種、バッタ類3種、チョウ類8種）
- ・重要種：都RL：ハグロトンボ（VU）
- ・外来種：なし

トンボ類では、種数は少ないが、ハグロトンボを確認した。

バッタ類では、市街地でも普通種のエンマコオロギやオンブバッタのほか、区内では3箇所のみで確認しているクサヒバリを確認した。クサヒバリは、河川沿いのクズ群落から鳴き声を確認した。

チョウ類では、市街地での普通種の他に、河川沿いのクズ群落でウラナミシジミやルリシジ

ミを確認した。

## R⑦ 白子川流域

- ・確認種：36種（トンボ類7種、バッタ類2種、チョウ類16種）
- ・重要種：都RL：ハグロトンボ（VU）、ミヤマアカネ（VU）
- ・外来種：なし

トンボ類では、流水を好むハグロトンボや、区内では2箇所のみ記録であるミヤマアカネを記録した。

バッタ類では、市街地でも普通種であるカネタタキのほか、裸地を好むイボバッタを確認した。

チョウ類では、普通種のほか、秋の移動時期にアサギマダラ、ミドリヒョウモン、アカタテハを確認した。これらの種は、河床のミズヒマワリの花に吸蜜に集まっていた。

## 5) 練馬区の昆虫相の特徴

### ①主要分類群

#### A. トンボ類

9科34種を確認した。

- ・流水性のハグロトンボを、石神井川・白子川の2つの河川で確認した。また、同じく流水を好むオニヤンマも幼虫・成虫ともに確認した。
- ・キイトンボやチョウトンボといった抽水植物の豊富な水域を選好する種を確認した。同じくアオヤンマ、マルタンヤンマ、ヤブヤンマといった抽水植物の豊富な水域を選好し、ややうす暗い樹林を選好する種も確認した。
- ・ウスバキトンボなど市街地に一般的な種は、区内のほぼ全域で確認した。
- ・以上のことから、様々な環境を選好する種を確認し、区内全域をみるとトンボ相が豊かであるといえる。止水性の種は、都立石神井公園と都立光が丘公園のバードサンクチュアリ、区立武蔵関公園と、公園内に分布しており、環境の大幅な改変の可能性は低いと考えられる。一方で、石神井川・白子川の両河川については、河床や河岸の維持や管理については流動的な部分が多いと考えられ、トンボ類の生息に配慮した管理が望まれる。

#### B. バッタ類

12科45種を確認した。

- ・都市・市街地に適応した種が多い。
- ・湿地性のヤチスズやキンヒバリ、ヒメギスなどを確認した。
- ・ヤブキリを確認したものの、設定した調査地ではなかった。区内では非常に数が少なくなっていると考えられる。
- ・シブイロカヤキリやツマグロバッタのように、23区内では希少な種を光が丘公園で確認した。貴重な記録であるが、今後も生息が継続されるか注意が必要である。
- ・草地性のクサキリを確認できなかった。同じく草地性のウスイロササキリやツユムシも少なかった。
- ・外来種のアオマツムシや、国内移入と考えられるスズムシも確認した。
- ・以上のことから、確認種数は比較的多く、区内全域をみるとバッタ相が豊かといえる。また、湿地性の種を複数種確認していることや、都 RL（区部）の記載種が多く確認していることも特徴的である。一方、分布は都立光が丘公園や都立石神井公園に集中しており、区内全域でみると、草地性の種が少ないことが懸念される。

#### C. チョウ類

9科45種を確認した。

- ・都市・市街地に適応した種が多い。
- ・樹林性のイチモンジチョウやミズイロオナガシジミなども確認した。
- ・湿地性のミドリシジミ、コムラサキも確認し、区内の池沼環境の豊かさが示唆される。
- ・草地性のヒメウラナミジャノメやジャノメチョウは確認できなかった。
- ・暖地性のツマグロヒョウモンやムラサキシジミ、ムラサキツバメ、クロコノマチョウ、ナガサキアゲハも確認した。
- ・外来種のアカボシゴマダラはすでに区内に分布していることが把握された。今後の分布の拡大に注意が必要である。

## D. その他

- ・暖地性のクマゼミを、都立光が丘公園、都立石神井公園、都立大泉中央公園、稲荷山憩いの森、廣徳寺、区立立野公園で確認した。今後も分布を広げる可能性があり、注目される。
- ・他のカマキリ類と比べて草地を選好するチョウセンカマキリが確認できなかった。

### ②全体を通して

- ・環境別に見ると、乾性の草地に生息する種の確認種数が少なかった。区内の草地環境が減少していることが原因と考えられる。
- ・自然に分布を拡大していると考えられるが、暖地性の種の生息を確認した。  
例) ムラサキシジミ、クロコノマチョウ、ナガサキアゲハ、クマゼミ
- ・国 RL レベルも含め、多くの重要種を確認したが、その中には、エサキアメンボ、ウバタマムシ、キイトトンボ、アオヤンマ、ヨツボシトンボなど、生息地が孤立化しており、個体の移動が困難になっていることが懸念される種がある。保全対策が必要な種については、関係部署と連携し、モニタリング調査により分布や個体数の動向に注目していくことや、対策を講じることが望ましい。
- ・今回は限られた調査日数の中で実施していること、調査年度が変わることで出現・確認種が変わる可能性が高いことと、隣接する杉並区の調査結果では 1,000 種を越える種を確認していることなどから、今後調査を継続していくことで、区内の生息状況をより詳細に把握することができると考えられる。

### 3. クモ類

#### (1) 調査方法

##### 1) 調査対象地

第Ⅲ章に示した 32 箇所 7 ルートを対象とした。但し、都立公園のような大規模な緑地は、公園全体としてのクモ類を含めた昆虫類相の評価ができるように調査地点以外での調査も行い、データの補足を行った。その結果、26 箇所 7 ルートとして集計した。

調査地のうち、特に面積が大きく、生息種の把握に十分な調査時間が必要と考えられる 8 箇所の大規模緑地と、区内で比較的大規模な草地である区立びくに公園については可能な限り全種を対象とした現地調査を行った（以下、全種調査とする）。

残りの 17 箇所 7 ルートの調査地については、他の分類群の調査時に把握が可能な大型の種の確認を中心に行った（以下、大型種調査とする）。

##### 2) 調査時期および時間

現地調査は、全種調査の対象である 9 箇所については、平成 21 年の夏期あるいは秋期（特に公園面積の大きな都立光が丘公園・都立石神井公園は両期）、平成 22 年の春期あるいは夏期に現地調査を行い、原則 2 期以上行うこととした。一方、大型種調査は、昆虫類の大型種調査と同時に平成 21 年に実施し、4～5 月に「春期調査」、7 月に「夏期調査」、9～10 月に「秋期調査」を行った。

全種調査の実施状況を表Ⅳ－3－1 に示した。

調査実施時間は、気温の上がる 9 時前後から開始し、16 時頃には終了した。

なお、上記の実施日以外でも任意の調査で確認した種は記録に加えた。

##### 3) 調査方法

目視により個体の確認を行った。なお、その場で同定できないものについては、捕獲し持ち帰り、後日、種の同定を試みた。

表Ⅳ－3－1 クモ類調査（全種調査） 実施日

調査地			調査日			
			平成21年		平成22年	
エリア	記号	調査地名	夏期調査	秋期調査	春期調査	夏期調査
Ⅰ 北町・田柄エリア	Ⅰ①	都立光が丘公園	8月19日	11月9日	4月30日	7月14日
	Ⅰ②	都立城北中央公園	8月30日		6月11日	
Ⅱ 豊玉・中村エリア	Ⅱ①	武蔵学園		11月9日		6月21日
	Ⅱ②	豊島園				6月21日
Ⅲ 石神井・関町エリア	Ⅲ①	都立石神井公園	8月12日	11月8日	4月29日	
	Ⅲ②	区立武蔵関公園		11月8日		7月14日
Ⅳ 大泉・土支田エリア	Ⅳ①	都立大泉中央公園	8月30日		6月11日	
	Ⅳ②	稲荷山・清水山憩いの森		10月11日		6月28日
	Ⅳ⑧	区立びくに公園		10月11日		6月28日

## (2) 調査結果

### 1) 確認種および重要種・外来種

#### ①確認種

平成 20 年度に行った下見などの調査結果に、平成 21～22 年度の調査結果、任意調査の観察記録を合わせ、表Ⅳ－3－2に示した。

調査の結果、30 科 182 種を確認した。表Ⅳ－3－2には、種の特徴が確認できたものは幼体でも調査結果に含めた。また、属までの未確定種でも、他にその属の種が確認できなかった場合は、1 種としてカウントした。



表Ⅳ-3-2 クモ類の確認種一覧 (1/4)

科名	種名	学名	Ⅰ 北町・田柄エリア						Ⅱ 豊玉・中村エリア				
			Ⅰ①	Ⅰ②	Ⅰ③	Ⅰ④	Ⅰ⑤	Ⅰ⑧	Ⅱ①	Ⅱ②	Ⅱ③	Ⅱ④	Ⅱ⑤
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	武蔵学園	豊島園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>	●	●	●			●	●				●
トタテグモ	キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia typica</i>	●	●				●				●	
ユウレイグモ	ユウレイグモ	<i>Pholcus crypticolens</i>											●
	イエユウレイグモ	<i>Pholcus phalangioides</i>											
タマゴグモ	ダニグモ	<i>Gamasomorpha cataphracta</i>		●									
	ナルトミダニグモ	<i>Ischnothyreus narutomii</i>	●										
	キハネグモ	<i>Orchestina flava</i>							●				
センシヨウグモ	センシヨウグモ	<i>Ero japonica</i>							●				
チリグモ	チリグモ	<i>Oecobius navus</i>						●					
	ヒラタグモ	<i>Uroctea compactillis</i>						●	●				
ウズグモ	マネキグモ	<i>Miagrammopes orientalis</i>					●		●			●	
	カタハリウズグモ	<i>Octonoba sybotides</i>	●	●				●					
ホラヒメグモ	コホラヒメグモ	<i>Nesticella brevipes</i>						●	●				
ヒメグモ	シロカネイソウロウグモ	<i>Argyrodes bonadea</i>	●										
	チリイソウロウグモ	<i>Argyrodes kumadai</i>		●						●			
	オナガグモ	<i>Ariamnes cylindrogaster</i>	●										
	シモフリミジグモ	<i>Dipoena punctisparsa</i>	●										
	カレハヒメグモ	<i>Enoplognatha abrupta</i>											
	ヒシガタグモ	<i>Episinus affinis</i>	●										
	ムラクモヒシガタグモ	<i>Episinus nubilus</i>	●										
	ハイロヒメグモ	<i>Paidiscura subpallens</i>											
	ツリガネヒメグモ	<i>Parasteatoda angulithorax</i>	●	●					●		●		
	キヒメグモ	<i>Parasteatoda asiatica</i>							●				
	カグヤヒメグモ	<i>Parasteatoda culicivora</i>	●	●					●				
	ニホンヒメグモ	<i>Parasteatoda japonica</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
	キヨヒメグモ	<i>Parasteatoda oculiprominens</i>	●						●				
	オオヒメグモ	<i>Parasteatoda tepidariorum</i>	●	●					●		●	●	
	ハラダカツクネグモ	<i>Phoroncidia altiventris</i>	●										
	サトヒメグモ	<i>Platnickina adamsoni</i>											●
	ムナボシヒメグモ	<i>Platnickina sterninotata</i>	●						●	●			
	ヤリグモ	<i>Rhomphaea sagana</i>	●										
	クロマルイソウロウグモ	<i>Spheropistha melanosoma</i>											
	スネグロオチバヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>							●	●			
バラギヒメグモ	<i>Takayus chikunii</i>												
コアカクロミジグモ	<i>Yaginumena mutilata</i>								●				
コケヒメグモ	<i>Yunohamella subadulta</i>												
ヨリメグモ	ヨリメグモ	<i>Conculus lyugadinus</i>											
コツブグモ	ヤマトコツブグモ	<i>Mysmenella ogatai</i>											
サラグモ	ザラアカムネグモ	<i>Asperthorax communis</i>											
	デーニッツサラグモ	<i>Doenitzius peniculus</i>											
	コデーニッツサラグモ	<i>Doenitzius pruvus</i>											
	マルムネヒザグモ	<i>Erigone edentata</i>											
	ノギリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>											
	クボミケシグモ	<i>Lepthyphantes concavus</i>											
	クロケシグモ	<i>Meioneta nigra</i>											
	ナニワナンキングモ	<i>Mermessus naniwaensis</i>											
	タテヤマテナガグモ	<i>Microbathyphantes tateyamaensis</i>	●						●	●			
	ヘリジロサラグモ	<i>Neriene oidedicata</i>	●	●					●	●			

Ⅲ 石神井・関町エリア						Ⅳ 大泉・土支田エリア						ルート							確認箇所	重要種		備考		
Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ①	Ⅳ②	Ⅳ③	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑧	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④		R⑤	R⑥		R⑦	国R
●	●		●			●	●	●					●									13		
●	●							●														7	NT	VU
●																						2		
●								●														2		
●																						2		
																						1		
																						1		23区内初
●						●																2		
						●																2		
●	●					●	●	●														7		
●	●					●	●	●														7		
●	●					●	●	●														8		
●												●										4		
●				●		●																2		
●																						6		
●																						2		
																						1		
●																						1		
	●																					2		
●							●															3		
●																						1		
●	●					●	●															8		
	●						●															3		
																						4		
●	●		●	●		●	●		●							●	●	●				20		
●																						3		
●			●			●	●	●					●									11		
																						1		
								●														2		
●						●																5		
●																						2		
	●																					1		練馬区のみ
●																						3		
●																						1		
																						1		
●							●															2		
							●															1		
●							●															2		23区内初
●																						1		
●																						1		
●													●									1		
						●																1		
							●						●									1		練馬区のみ
							●						●									2		23区内初
							●															4		
●	●					●	●															8		

表Ⅳ－３－２ クモ類の確認種一覧 (2/4)

科名	種名	学名	Ⅰ 北町・田柄エリア					Ⅱ 豊玉・中村エリア						
			Ⅰ①	Ⅰ②	Ⅰ③	Ⅰ④	Ⅰ⑤	Ⅰ⑧	Ⅱ①	Ⅱ②	Ⅱ③	Ⅱ④	Ⅱ⑤	
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	武蔵学園	豊島園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸	
サラグモ	カントウケシグモ	<i>Nippononeta kantonis</i>												
	ナナメケシグモ	<i>Nippononeta obliqua</i>		●										
	イマダテテングヌカグモ	<i>Oia imadatei</i>												
	テングヌカグモ	<i>Paikiniana mira</i>	●						●					
	オオイオリヒメサラグモ	<i>Syedra oii</i>						●						
	ヤマトウジヌカグモ	<i>Tojinium japonicum</i>												
	アトグロアカムネグモ	<i>Ummeliata feminea</i>	●						●	●				
	セスジアカムネグモ	<i>Ummeliata insecticeps</i>	●											
チョビヒゲヌカグモ	<i>Walckenaeria golovatchi</i>													
アシナガグモ	オオシロカネグモ	<i>Leucauge celebesiana</i>	●				●		●					
	コシロカネグモ	<i>Leucauge subblanda</i>							●					
	キラシロカネグモ	<i>Leucauge subgemmea</i>	●						●					
	メガネドヨウグモ	<i>Metleucauge yunohamensis</i>	●						●					
	ヒメアシナガグモ	<i>Pachygnatha tenera</i>												
	トガリアシナガグモ	<i>Tetragnatha caudicula</i>												
	ヤサガタアシナガグモ	<i>Tetragnatha maxillosa</i>	●	●					●	●				
	ヒカリアシナガグモ	<i>Tetragnatha nitens</i>	●											
	アシナガグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>	●	●						●				
	ウロコアシナガグモ	<i>Tetragnatha squamata</i>	●						●	●				
	シコクアシナガグモ	<i>Tetragnatha vermiformis</i>	●											
ジョロウグモ	ジョロウグモ	<i>Nephila clavata</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
コガネグモ	ハツリグモ	<i>Acuilas coccineus</i>	●	●										
	ビジョオニグモ	<i>Araneus mitificus</i>	●											
	マルツメオニグモ	<i>Araneus semilunaris</i>												
	カラオニグモ	<i>Araneus tsurusakii</i>												
	オニグモ	<i>Araneus ventricosus</i>							●	●				
	ナガコガネグモ	<i>Argiope bruennichi</i>	●	●				●						
	コガタコガネグモ	<i>Argiope minuta</i>	●											●
	ギンメッキゴミグモ	<i>Cyclosa argenteoalba</i>	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
	ゴミグモ	<i>Cyclosa octotuberculata</i>	●											
	ヨツデゴミグモ	<i>Cyclosa sedeculata</i>	●	●						●				
	マルゴミグモ	<i>Cyclosa vallata</i>		●										
	サガオニグモ	<i>Eriophora astridae</i>	●											
	カラフトオニグモ	<i>Eriophora sachalinensis</i>	●											●
	トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhli</i>									●			
	シロスジジョウジョウグモ	<i>Hypsosinga sanguinea</i>												
	コガネグモダマシ	<i>Larinia argiopiformis</i>	●											
	ナカムラオニグモ	<i>Larinioides cornutus</i>	●											
	ゴマジロオニグモ	<i>Mangora herbeoides</i>	●											
	ドヨウオニグモ	<i>Neoscona adianta</i>	●											
	ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona melloteei</i>	●											
	ヤマシロオニグモ	<i>Neoscona scylla</i>												
サツマノミダマシ	<i>Neoscona scylloides</i>													
ズグロオニグモ	<i>Yaginumia sia</i>													
コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>												
	フジコモリグモ	<i>Arctosa fujiii</i>	●											
	ヒノマルコモリグモ	<i>Arctosa ipsa</i>												
	シッチコモリグモ	<i>Hygrolycosa umidicola</i>	●											

Ⅲ 石神井・関町エリア						Ⅳ 大泉・土支田エリア									ルート							確認箇所	重要種		備考	
Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ①	Ⅳ②	Ⅳ③	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑧	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④	R⑤	R⑥	R⑦		国	都		
都立石神井公園	区立武蔵関公園	東京カトリック神学院	天祖若宮八幡宮	MO氏邸	石泉愛らんど	都立大泉中央公園	稲荷山・清水山憩いの森	八の釜憩いの森	土支田八幡宮	MU氏邸	小作原広場	井頭こぶし憩いの森	区立びくに公園	O氏畑	練馬駅周辺ルート	城南住宅ルート	田柄川緑道ルート	立野町ルート	土支田・谷原ルート	石神井川流域	白子川流域		R	R		
							●																1			
●																								2		
●																								1		
																								2		
●							●																	3		練馬区のみ
●																								1		
●												●												5		
																								1		
							●																	1		
●	●			●	●		●									●								9		
																								1		
●							●																	4		
		●											●											2		
													●											1		
●							●	●																7		
●	●																							1		都内初
●							●	●					●					●						5		
●							●	●					●					●						8		
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		29		
●							●																	4		
								●																1		
								●																1		
●							●																	2		
●													●											4		
●																								4		
●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		26		
●							●																	3		
●							●	●	●	●	●							●						9		
							●						●											4		
●									●															3		
	●																							3		
								●																1		23区内初
●							●																	2		
																								1		
																								1		23区内初
																								1		23区内初
										●														2		
	●						●																	3		
●																								1		
	●																							1		
●																								1		
●	●																							3		
●	●																							1		
●	●																							2		23区内初

表Ⅳ-3-2 クモ類の確認種一覧 (3/4)

科名	種名	学名	Ⅰ 北町・田柄エリア					Ⅱ 豊玉・中村エリア				
			Ⅰ① 都立光が丘公園	Ⅰ② 都立城北中央公園	Ⅰ③ どんぐり山憩いの森	Ⅰ④ 八幡神社	Ⅰ⑤ U氏邸	Ⅰ⑧ 高松市民農園	Ⅱ① 武蔵学園	Ⅱ② 豊島園	Ⅱ③ 廣徳寺・区立高稲荷公園	Ⅱ④ 氷川神社
コモリグモ	イナダハリゲコモリグモ	<i>Pardosa agraria</i>	●									
	ウツキコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>		●		●		●				
	カラコモリグモ	<i>Pardosa hedini</i>										
	ハリゲコモリグモ	<i>Pardosa laura</i>			●			●				●
	キクツキコモリグモ	<i>Pardosa pseudoannulata</i>	●									
	クラークコモリグモ	<i>Pirata clercki</i>						●	●			
	イモコモリグモ	<i>Pirata piratoides</i>										
	チビコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>						●				
キシダグモ	キバラコモリグモ	<i>Pirata subpiraticus</i>	●									
	イオウイロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>	●						●			
	アズマキシダグモ	<i>Pisaura lama</i>	●									
ササグモ	ササグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>	●	●				●	●	●		●
シボグモ	シボグモ	<i>Anahita fauna</i>	●									
タナグモ	クサグモ	<i>Agelena silvatica</i>	●	●				●	●	●		
	コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>	●	●	●			●	●	●	●	
	シモフリヤチグモ	<i>Iwogomoa insidiosa</i>	●									
	メガネヤチグモ	<i>Pireneitega luctuosa</i>						●				
ナミハグモ	ナミハグモ属の一種	<i>Cybaeus sp.</i>										
ハグモ	ネコハグモ	<i>Dictyna felis</i>	●	●				●	●			
	ヤマトカレハグモ	<i>Lathys maculosa</i>										
ツチフクログモ	カバキコマチグモ	<i>Cheiracanthium japonicum</i>	●									
	ヤマトコマチグモ	<i>Cheiracanthium lascivum</i>	●									
	ヤサコマチグモ	<i>Cheiracanthium unicum</i>	●									
ウエムラグモ	イタチグモ	<i>Itatsina praticola</i>	●	●				●				
フクログモ	ハマキフクログモ	<i>Clubiona japonicola</i>										
	ヒメフクログモ	<i>Clubiona kurilensis</i>	●									
	トビイロフクログモ	<i>Clubiona lena</i>										
	カギフクログモ	<i>Clubiona pseudogermanica</i>										
	マイコフクログモ	<i>Clubiona rostrata</i>										
	ツルサキフクログモ	<i>Clubiona tsurusakii</i>										
	ムナアカフクログモ	<i>Clubiona vigil</i>										
ネコグモ	オトヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>	●	●				●	●			
	コムラウラシマグモ	<i>Otacilia komurai</i>		●				●	●			
	キレオビウラシマグモ	<i>Phrurolithus coreanus</i>	●						●			
	ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>	●	●					●			
	ヤバネウラシマグモ	<i>Phrurolithus pennatus</i>	●						●			
	ネコグモ	<i>Trachela japonicus</i>						●	●			
ワシグモ	メキリグモ属の一種	<i>Gnaphosa sp.</i>	●									
	ヤマトフトバワシグモ	<i>Odontodrassus hondoensis</i>	●									
	クロチャケムリグモ	<i>Zelotes asiaticus</i>	●									
エビグモ	キンイロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>	●									
	キハダエビグモ	<i>Philodromus spinatarsis</i>	●									
	アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>	●	●				●	●			
	ヨシシャコグモ	<i>Tibellus fengi</i>	●									
	シャコグモ	<i>Tibellus japonicus</i>	●					●	●			
カニグモ	キハダカニグモ	<i>Bassaniana decorata</i>	●	●				●				
	コカニグモ	<i>Coriarachne fulvipes</i>		●								
	コハナグモ	<i>Diaea subdola</i>	●						●			

Ⅲ 石神井・関町エリア						Ⅳ 大泉・土支田エリア									ルート							確認箇所	重要種		備考		
Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ①	Ⅳ②	Ⅳ③	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑧	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④	R⑤	R⑥	R⑦		国R	都R・区部			
																									1		
●					●	●				●	●	●	●	●								●			12		
						●																			1		23区内初
●							●	●																	6		
																									1		
●																									3		
													●												1		
●																									2		
●																									2		
●	●						●	●																	6		
●	●						●	●			●				●										2		
●	●						●	●																	14		
●	●						●	●																	4		
●	●						●	●																	9		
●	●	●			●	●	●	●		●			●	●	●	●		●	●	●	●	●			24		
●							●																		3		
																									1		
●																									1		
●	●												●												7		
●							●																		2		
																									1		
																									1		
●	●						●	●																	7		
●																									1		
●																									2		練馬区のみ
●																									1		
●														●											1		
							●																		1		23区内初
								●																	1		
●	●						●																		7		
●																									4		
●	●						●																		5		23区内初
●							●	●	●																7		
●																									3		
●							●																		4		
																									1		23区内初
																									1		
●				●			●																		4		
●	●									●															4		
●							●				●														7		
●	●						●	●	●																1		都内初
●																									8		
●																									5		
●	●																								3		
●							●																		4		

表IV-3-2 クモ類の確認種一覧 (4/4)

科名	種名	学名	I 北町・田柄エリア					II 豊玉・中村エリア					
			I①	I②	I③	I④	I⑤	I⑧	II①	II②	II③	II④	II⑤
			都立光が丘公園	都立城北中央公園	どんぐり山憩いの森	八幡神社	U氏邸	高松市民農園	武蔵学園	豊島園	廣徳寺・区立高稲荷公園	氷川神社	N氏邸
カニグモ	クマダハナグモ	<i>Ebelingia kumadai</i>											
	ハナグモ	<i>Ebrechtella tricuspida</i>	●	●						●			
	ワカバグモ	<i>Oxytate striatipes</i>	●						●	●			●
	マツモトオチバカニグモ	<i>Ozyptila matsumotoi</i>		●						●			
	ニッポンオチバカニグモ	<i>Ozyptila nipponica</i>							●	●			
	アズチグモ	<i>Thomisus labefactus</i>	●						●	●			
	セマルトラフカニグモ	<i>Tmarus rimosus</i>		●									
	ヤミイロカニグモ	<i>Xysticus croceus</i>								●			
ソウシキカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>	●						●					
ハエトリグモ	マツモトハエトリ	<i>Bristowia heterospinosa</i>		●					●				
	ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>	●	●				●	●	●			●
	カタオカハエトリ	<i>Euophrys kataokai</i>	●										
	マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>	●										
	ウデブトハエトリ	<i>Harmochirus insulanus</i>											
	アダンソンハエトリ	<i>Hasarius adansoni</i>					●					●	
	チクニハエトリ	<i>Helicium chikunii</i>	●										
	コジャバラハエトリ	<i>Helicium cylindratum</i>		●									
	エキスハエトリ	<i>Laufeia aenea</i>	●						●				
	オオハエトリ	<i>Marpissa milleri</i>											
	ヨダンハエトリ	<i>Marpissa pulla</i>	●	●						●			
	オスクロハエトリ	<i>Mendoza canestrinii</i>											
	ヤハズハエトリ	<i>Mendoza elongata</i>	●										
	シラヒゲハエトリ	<i>Menemerus fulvus</i>	●							●	●		
	ヤガタアリグモ	<i>Myrmarachne elongata</i>								●			
	タイリクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>	●										
	ヤサアリグモ	<i>Myrmarachne inermichelis</i>		●									
	アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>	●	●						●			●
	チャイロアサヒハエトリ	<i>Phintella abnormis</i>	●	●					●	●			
	マガネアサヒハエトリ	<i>Phintella arenicolor</i>											
	メガネアサヒハエトリ	<i>Phintella linea</i>	●										
	メスジロハエトリ	<i>Phintella versicolor</i>								●			
	デーニツツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>											
	ミスジハエトリ	<i>Plexippus setipes</i>	●										
	イナズマハエトリ	<i>Pseudicius vulpes</i>		●						●			
	カラスハエトリ	<i>Rhene atrata</i>	●										
	キレワハエトリ	<i>Sibianor pullus</i>		●									
	アオオビハエトリ	<i>Siler cupreus</i>	●						●	●			
	ヒトリコゲチャハエトリ	<i>Sitticus avocator</i>											
	30	182		97	43	5	2	6	7	50	53	9	9
			113					79					

注1: 本リストは「(谷川明男)日本産クモ類目録Ver.2011R1」(<http://www.asahi-net.or.jp/~dp7a-tnkw/japan.pdf>)に準拠している。

注2: 種の特徴が確認できたものは幼体でも含めた。属までの未確定種でも、他に無い属の場合は載せた。

注3: 備考欄 都内初: 東京都内での初記録 23区内初: 23区内での初記録 練馬区のみ: 23区内で練馬区でのみ確認された種  
 なお、初記録等は、「CD日本のクモver.2010(新海 明 安藤昭久 谷川明男 池田博明 桑田隆生)」から判断。

Ⅲ 石神井・関町エリア						Ⅳ 大泉・土支田エリア									ルート							確認箇所	重要種		備考
Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ③	Ⅲ④	Ⅲ⑤	Ⅲ⑥	Ⅳ①	Ⅳ②	Ⅳ③	Ⅳ④	Ⅳ⑤	Ⅳ⑥	Ⅳ⑦	Ⅳ⑧	Ⅳ⑨	R①	R②	R③	R④	R⑤	R⑥	R⑦		国R L	都R L・区部	
●																						1			
●							●													●			6		
●	●			●		●	●													●	●		11		
●						●																	4		
●																							3		
●		●												●									6		
						●																	2		
																							1		
	●																						3		
●						●																	4		
●					●							●		●									10		
																							1		23区内初
●						●																	3		
●							●																2		
																			●				3		
																							1		23区内初
	●																						1		
●																							3		
●							●	●															1		
●						●	●																2		
●	●					●	●				●										●		10		
●	●			●		●	●																9		
							●																1		
●																							2		
●	●			●			●	●															3		
●	●			●			●	●															5		
																							1		
						●																	3		
●			●																				2		
							●																3		
																							2		
																							3		
														●									4		
																							1		練馬区のみ
105	40	3	7	10	7	48	53	17	7	6	3	4	18	8	2	5	5	7	5	5	3				
119						100									14										

## ②重要種

文化財保護法、種の保存法における指定種の確認は無かった。

重要種の確認状況を表Ⅳ-3-3に示した。国 RL の記載種は、キシノウエトタテグモ（準絶滅危惧）の1種であった。都 RL（区部）の記載種は、キシノウエトタテグモが、絶滅危惧Ⅱ類（VU）であった。また、トゲグモ（廣徳寺で確認）、ゴマジロオニグモ（都立光が丘公園で確認）が「(-)：データ無し」として扱われており、今後、23区内での貴重な記録になると考えられる。

参考として、隣接した杉並区での注目動植物となっている種を抽出した（杉並区 2006）。その結果、表Ⅳ-3-4に示した7種が該当した。

表Ⅳ-3-3 クモ類の重要種確認状況

<b>キシノウエトタテグモ(トタテグモ科)</b> 国RL: 準絶滅危惧(NT) 都RL(区部): 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	
	確認地点: 都立光が丘公園、都立城北中央公園、武蔵学園、氷川神社、都立石神井公園、区立武蔵関公園、八の釜憩いの森(7箇所)  確認状況: 氷川神社では平成21年9月に徘徊する1個体を確認した。それ以外の調査地では、全てで巣穴を確認したことから、定着していると考えられる。
<b>トゲグモ(コガネグモ科)</b> 都RL(区部): データなし(-)	
	確認地点: 廣徳寺・区立高稲荷公園  確認状況: 平成21年7月、廣徳寺の林縁で1個体を確認した。
<b>ゴマジロオニグモ(コガネグモ科)</b> 都RL(区部): データなし(-)	
	確認地点: 都立光が丘公園  確認状況: 平成21年11月、自然保全ゾーンの林縁で複数個体を確認した。

表IV-3-4 杉並区注目動植物にあたるクモ類の一覧

カテゴリー	該当種	確認した場所
Bランク (7種)	マネキグモ	U氏邸、豊島園、氷川神社、都立石神井公園、都立大泉中央公園、稲荷山・清水山憩いの森、八の釜憩いの森
	ナガコガネグモ	都立光が丘公園、都立城北中央公園、高松市民農園、都立石神井公園、区立びくに公園、石神井川流域
	コガタコガネグモ	都立光が丘公園、N氏邸、都立石神井公園、MO氏邸
	オナガグモ	都立光が丘公園、都立石神井公園
	コデーニッツサラグモ	都立石神井公園
	メスジロハエトリ	豊島園、稲荷山・清水山憩いの森、八の釜憩いの森
	コハナグモ	都立光が丘公園、豊島園、都立石神井公園、都立大泉中央公園、八幡神社

Bランク：元来、(杉並)区内の広い範囲に分布していたが、近年減少している種

### ③外来種

確認種のうち、外来種にあたるものはなかった。

### ④東京都および23区内初記録の種

クモ類については、練馬区内はもとより、東京都内でも十分な調査が行われていないため、23区内あるいは都内の初記録と考えられる種を確認した。なお、初記録の判断については、「CD 日本のクモ ver.2010 (新海 明 安藤昭久 谷川明男 池田博明 桑田隆生)」から判断した。これら初記録の種の一覧を表IV-3-5に、都内初記録の種の確認状況を表IV-3-6に示した。

確認した182種のうち、東京都内で新記録と考えられるのは、ヒカリアシナガグモ、ヨシシャコグモの2種であった。また、23区内での初記録として、14種を確認した。このほか、23区内では練馬区だけの記録として5種が抽出された。

都内および23区内初記録の16種については、十分な生息情報がないことから、今後のモニタリング調査が望まれるとともに、練馬の希少種リストを作る際には「情報不足」以上のカテゴリーとすることが望まれる。

表Ⅳ－３－５ 東京都内あるいは23区内初記録となったクモ類の一覧

カテゴリー	種名	確認場所	備考
東京都内 初記録	ヒカリアシナガグモ	都立光が丘公園	2種
	ヨシシャコグモ	都立光が丘公園	
23区内 初記録	キハネグモ	豊島園	14種
	ヤマトコツブグモ	都立石神井公園、稲荷山・清水山憩いの森	
	ナニワナンキングモ	稲荷山・清水山憩いの森、区立びくに公園	
	トゲグモ	廣徳寺	
	ナカムラオニグモ	都立光が丘公園	
	ゴマジロオニグモ	都立光が丘公園	
	シッチコモリグモ	都立光が丘公園、武蔵関公園	
	カラコモリグモ	都立大泉中央公園	
	ツルサキコモリグモ	都立大泉中央公園	
	キレオビウラシマグモ	都立光が丘公園、豊島園、都立石神井公園、 区立武蔵関公園、都立大泉中央公園	
	ヤマトフトバワシグモ	都立光が丘公園	
	カタオカハエトリ	都立光が丘公園	
	チクニハエトリ	都立光が丘公園	
ヤガタアリグモ	豊島園		
23区内で 練馬区のみ の記録	クロマルイソウロウグモ	区立武蔵関公園	5種
	クボミケシグモ	稲荷山・清水山憩いの森	
	オオイオリヒメサラグモ	武蔵学園、都立石神井公園、稲荷山・清水山憩いの森	
	ヒメフクログモ	都立光が丘公園、都立石神井公園	
	ヒトリコゲチャハエトリ	区立びくに公園	

表Ⅳ－３－６ 東京都内初記録であったクモ類

ヒカリアシナガグモ(アシナガグモ科)	
	<p>確認地点：都立光が丘公園</p> <p>確認状況：平成22年7月、バードサンクチュアリで確認した。</p>
ヨシシャコグモ(エビグモ科)	
	<p>確認地点：都立光が丘公園</p> <p>確認状況：平成22年7月、バードサンクチュアリで確認した。</p>

## 2) クモ類からみた環境評価

新海栄一（1998）による環境指標種を参考に、本調査で確認した種を区分した。これを表Ⅳ－3－7に示した。

合計 32 種が該当していた。このうち、A ランクが 2 種、B ランクが 3 種と少ないが、C ランクは 8 種、都市環境指標種は 19 種と比較的多い構成となっている。

表Ⅳ－3－7 環境指標種（新海栄一，1998）の該当種

カテゴリー	該当種名	該当種数
自然環境指標種 Aランク(37種) 豊かな森林植生が存在する自然度の高い山地に生息する種群	ヨリメグモ マルヅメオニグモ	2種
自然環境指標種 Bランク(30種) 山地から里山にかけての良好な森林あるいは樹林地に生息する種群	(ヤマトコツブグモ) トゲグモ エビチャコモリグモ	3種
自然環境指標種 Cランク(31種) 山地から里山、さらに森林地が帯状または島状に存在する地域にまで広く生息する種群	ハラダカツクネグモ      サガオニグモ ヤリグモ                      ゴマジロオニグモ コアカクロミジグモ        フジイロコモリグモ デーニツツサラグモ        エクスハエトリ	8種
都市環境指標種(38種) 都心部から郊外にかけての建造物、庭園、社寺林などに多く出現し、都市部の環境を表現している種群	ジグモ                          ズグロオニグモ キシノウエトタゲモ        シモフリヤチグモ イエユウレイグモ            メガネヤチグモ チリグモ                        ネコハグモ ヒラタグモ                      ヤバネウラシマグモ カレハヒメグモ               キンイロエビグモ キヨヒメグモ                  アダンソンハエトリ オオヒメグモ                  シラヒゲハエトリ サトヒメグモ                  ミスジハエトリ オニグモ	19種

この種数を用いて下記のように環境指数（自然度）を算出することができる。

$$\text{環境指数} = \frac{\text{自然環境指標種合計} + 1}{\text{都市環境指標種合計} + 1} \times \text{採集種類数合計}$$

$$\text{練馬区全体の環境指数} = \frac{(2+3+8) + 1}{19+1} \times 182 = 127.4$$

この数値の評価基準について表Ⅳ－3－8に示した。練馬区の環境指数は、里山型の環境を評価する場合は、「悪化」であるが、都市型の環境を評価する場合は、「きわめて良好」とされる。

このことから、練馬区の環境を生息するクモ類の種組成から考えると、里山と位置づけると環境が良いとは言えないが、都市環境とみなせば、非常に良好な地域といえることができる。

表Ⅳ－3－8 環境指数（新海栄一，1998）の評価基準

評価	環境指数	
	里山の環境	都市型の環境
きわめて悪化	100以下	20以下
悪化	100～200	20～40
平均的	200～400	40～60
良好	400～600	60～80
きわめて良好	600以上	80以上

※練馬区が該当する範囲を網掛けした。

### 3) 科別出現傾向

本調査では、30 科 182 種のクモ類を確認した。これらの出現傾向を科別にまとめた。分類・配列は「谷川明男（2012）日本産クモ類目録 2012R1」に準拠した。

#### ①ジグモ科

1 種を確認した。ジグモは、13 箇所を確認した。乾燥が激しく極端に地盤の硬い所ではあまり見られないが、普通に土があり、エサとなるダンゴムシやその他の土壌動物が通る所であれば、生息できるので、区内の多くの場所に分布していると考えられる。

#### ②トタテグモ科

1 種を確認した。キシノウエトタテグモは、国 RL では準絶滅危惧、都 RL では絶滅危惧Ⅱ類となっているが、7 箇所を確認した。土壌の湿度が適度に保たれていて、崖地や石積みの隙間が土で埋まっている様な状態の環境があれば、生息している可能性がある。

#### ③ユウレイグモ科

2 種を確認した。イエユウレイグモは 2 箇所の確認のみだが、人家の室内等にも多く生息している種なので、区内には広く分布していると考えられる。ユウレイグモは野外の崖地等にも多く生息している。シモングモは、過去に都立石神井公園で記録されており、室内性の普通種の為、区内の人家には数多く生息していると考えられる。

#### ④タマゴグモ科

3 種を確認した。何れも微小種のため、見つかりにくい。特にキハネグモは、全国的にも極めて記録が少なく、区部でも初記録であった。豊島園の雑木林の林床（要確認）で確認した。ナルトミダニグモもキハネグモも乾燥に弱く、山地等の樹林地周辺の落ち葉層に生息する種である。ナルトミダニグモは、都立光が丘公園の雑木林（自然保全ゾーン）の林床で確認した。

#### ⑤センショウグモ科

1 種を確認した。センショウグモは、クモ専門食のクモで山地から比較的人工的な環境にも生息している。今回は 2 箇所を確認した。

#### ⑥チリグモ科

2 種を確認した。いずれも人工的な環境に生息している。ヒラタグモは 7 箇所を確認した。チリグモは微小なため、3 箇所でのみ確認したが、区内では他所にも生息していると考えられる。

#### ⑦ウズグモ科

2 種を確認した。いずれも樹林地周辺などに多く、今回はマネキグモを 7 箇所、カタハリウズグモを 8 箇所を確認した。

#### ⑧ホラヒメグモ科

1 種を確認した。洞窟種の多い科だが、コホラヒメグモは、落ち葉層や倒木下などにも生

息している。今回は4箇所を確認した。一見明るく開けた場所でも、湿り気が十分な環境であれば、確認される場合があり、区立びくに公園でも確認した。

### ⑨ヒメグモ科

23種を確認した。ヒメグモは区内の多くに生息しており、20箇所を確認した。オオヒメグモは人口構造物との結びつきが強い種で、11箇所を確認した。何れも人工的な環境のある地点であった。ヒシガタグモやハラダカツクネグモは、比較的里山環境に生息する種だが、都立光が丘公園バードサンクチュアリの林内で確認した。暖地性のクロマルイソウロウグモは、近年北上して来た種でもあり、それほど多くはないが、区立武蔵関公園で確認した。過去に都立石神井公園でも記録されている。

### ⑩ヨリメグモ科

1種を確認した。ヨリメグモは、溪流など源流に近い環境に多く生息している。そのため、都心、特に区部では生息する場所は非常に少ないと考えられる。清水山憩いの森で確認した。

### ⑪コツブグモ科

1種を確認した。ヤマトコツブグモは、体長1mm前後の微小種であり、湿地等の地表近く、草の隙間や根元付近に球状円網を張る。平成19年に新種記載されたが、全国的にまだ記録が非常に少なく、区部での正式な記録としては初めてである。都立石神井公園と清水山憩いの森で確認した。

### ⑫サラグモ科

19種を確認した。国内においては、280種を超える最大の科である。一部の樹上大型種以外は、ほとんど地表やリター等に生息する微小種であるため、見付けにくく同定も困難な種が多い。しかしながら、それらの多様さは、土壤環境の多様性を示すとも考えられる。都立石神井公園で最多18種、次いで清水山憩いの森の7種を確認した。カントウケシグモ、イマダテテングヌカグモ、オオイオリヒメサラグモ、ヤマトトウジヌカグモなどは、ある程度の規模の樹林が必要と考えられるが、都立石神井公園、清水山憩いの森などで記録されている。

### ⑬アシナガグモ科

11種を確認した。本科は水辺を好む種が多い。ヒカリアシナガグモは近年北上傾向の著しい種である。都立光が丘公園バードサンクチュアリの池のヨシ原で確認。当初は都初記録であった。

### ⑭ジョロウグモ科

1種を確認した。本科の本土分布種はジョロウグモのみである。樹林・林縁を好む種であるが、低山帯から平地の都市部まで広く分布し、全国的にも個体数は多い。大型で派手であり、網も大きいため、区内でも最も目に付きやすい種の一つである。

### ⑮コガネグモ科

23種を確認した。比較的サイズの大きい種が多いため、クモ類の中では比較的発見しや

すい。ギンメッキゴミグモが最も目につき、26 箇所を確認した。都 RL では情報不足 (DD) のトゲグモを廣徳寺で、ゴマジロオニグモを都立光が丘公園で確認した。都内ではいずれも個体数は少なく、区部では初記録である。マルヅメオニグモも、里山や山地の森林・林道等を好む種で、区部では極めて稀であるが、清水山憩いの森で確認した。マルゴミグモは、元々暖地性で、近年北上傾向の著しい種である。

#### ⑩コモリグモ科

13 種を確認した。ウヅキコモリグモは、草丈のほとんどない乾燥した荒地に近い草地性の種で、12 箇所を確認し、区内で最も普通に生息していると考えられる。カラコモリグモは、全国的に非常に記録の少ない種であるが、都立大泉中央公園の陸上競技場内の芝生で確認した。シッチコモリグモは、谷戸の休耕田や湿地のような環境を好む種であるが、都立光が丘公園バードサンクチュアリ池の湿地、区立武蔵関公園の「葦の島」の湿地で確認した。いずれも区部では初記録である。

#### ⑪キシダグモ科

2 種を確認した。特に大型種の多い科である。比較的都心の緑地でも適応しているイオウイロハシリグモは、6 箇所を確認した。成体は水辺近くでのみの確認であった。

#### ⑫ササグモ科

1 種を確認した。ササグモは、草本上や樹木の葉先などにおり、14 箇所を確認した。区内で最も普通に見られる種の一つと考えられる。

#### ⑬シボグモ科

1 種を確認した。本科の本土分布種はシボグモのみである。林床や草地のリター等、地表徘徊性の代表的な種の一つであるが、今回は 4 箇所でのみの確認であった。

#### ⑭タナグモ科

4 種を確認した。棚網が極めて目につきやすいクサグモとコクサグモは、9 箇所と 24 箇所を確認した。シモフリヤチグモとメガネヤチグモは、3 箇所と 2 箇所の確認だが、比較的市街地でも適応できる種のため、区内の各所に分布している可能性が高い。

※「(谷川明男) 日本産クモ類目録 2000R1」より、従来までヤチグモ類は、ガケジグモ科に分類されていたが、「2011R1」では、本科に属している。

#### ⑮ナミハグモ科

1 種を確認した。地域やサイズ等から、恐らくカチドキナミハグモではないかと推測される (種の確定には今後の成体採集が必要)。崖地等に生息する種だが、都立石神井公園の城蹟付近の岩場で住居も複数確認した。

#### ⑯ハグモ科

2 種を確認した。都市環境にもよく適応しているネコハグモは、7 箇所を確認した。ヤマトカレハグモは、樹皮等に生息しているが、都心部でもある程度の樹林があれば生息できるようである。

### ㉓ ツチフクログモ科

3 種を確認した。ヨシやススキ等の葉を巻いて粽（ちまき）のような住居を造るが、いずれの種も、今回は、都立光が丘公園バードサンクチュアリのヨシ原でのみ確認した。なお、ヤマトコマチグモは、過去に都立石神井公園で記録がある。

### ㉔ ウエムラグモ科

1 種を確認した。イタチグモは、林床等、地表徘徊性の代表的な種の一つで、7 箇所を確認した。

### ㉕ フクログモ科

7 種を確認した。本科は外観で識別できない種が大半であるが、詳しく調べると、地域毎に種構成が大きく違う場合がある。区内には意外と多くの種が生息していることが分かり、特に都立石神井公園が 8 種と多かった。カギフクログモは区立びくに公園で、ムナアカフクログモは清水山憩いの森で確認した。都立大泉中央公園ではツルサキフクログモを確認しており、それぞれ微妙な棲み分けがなされていると考えられる。

### ㉖ ネコグモ科

6 種を確認した。林床等の地表徘徊性の代表的な種を多く含む科である。オトヒメグモとウラシマグモは、共に 7 箇所を確認し、区内の林床には普通に分布していると考えられる。キレオビウラシマグモは、区部では初記録で、記録自体も全国的にあまり多くないが、区内では 5 箇所を確認し、普通に生息していると考えられた。他種も、ある程度の樹林地があれば生息しているようである。

### ㉗ ワシグモ科

3 種を確認した。地表徘徊性の代表的な種を多く含む科である。メキリグモやクロチャケムリグモは全国的には普通種の類であるが、今回なかなか成体を得られなかったことから、区内での個体数は特別多くはないと考えられる。いずれも都立光が丘公園での確認である。ヤマトフトバワシグモも、区部での初記録であるが、河川敷等のリターには多いと考えられ、各地域での記録が今後増える可能性がある。

### ㉘ エビグモ科

5 種を確認した。草地等を好むシャコグモは、8 箇所と意外に多くの場所で確認した。次いで、樹木の葉上を好むアサヒエビグモを、7 箇所を確認した。ヨシシャコグモは、河川敷等のヨシやガマ等に多産する傾向があるが、それ以外の緑地（山など）では見かけないことと、2009 年に日本新記録種として初めて和名が付いた種のため、認知度が低いせい、全国的にほとんど記録がない。今回、都立光が丘公園バードサンクチュアリ池のガマ等の群落で確認し、当初、都初記録であった。

### ㉙ カニグモ科

12 種を確認した。ワカバグモが 11 箇所と、区内最も普通に見られる種の一つと考えられた。その他の種も、都心（区部）でもある程度の緑地帯があれば、皆、生息出来る種のようなものである。

### ㊦ ハエトリグモ科

29 種を確認した。区内の普通種としては、ネコハエトリ、アリグモを 10 箇所、チャイロアサヒハエトリを 9 箇所を確認した。アダソンハエトリ、シラヒゲハエトリ、ミスジハエトリ等は、今回の調査での確認は多くなかったが、これらは極端に人工的な環境に適応している種のため、区内全域の人家等には普通に生息していると考えられる。マツモトハエトリは、全国的に記録は少ないものの、都心の緑地でも生息している。区内でも、確認地点は 4 箇所と意外に多かった。カタオカハエトリは、都立光が丘公園バードサンクチュアリ内外の草地で複数の個体を確認し、過去の都立石神井公園の記録もあるが、区部での他所の記録はない。チクニハエトリも、都立光が丘公園バードサンクチュアリのヨシ原で確認した。全国的に記録は非常に少なく、区部での正式な記録は初である。ただ、河川敷等では多いと考えられ、今後各地の記録が増える可能性がある。ヒトリコゲチャハエトリも同様のことが言えそうである。本種は区立びくに公園と過去の都立石神井公園での記録がある。ヤガタアリグモは、豊島園で確認し、区部では初記録であった。暖地性で全国的にまだほとんど記録のない種だが、近年北上傾向が著しく、河川敷や比較的人工的な場所で多く確認されるようになって来ており、今後は各地の記録が増えると考えられる。

#### 4) 練馬区のクモ類相の特徴

##### ①種数が非常に多い

練馬区内のクモ類については、東京蜘蛛談話会の会誌「kishidaia No.97」に掲載されている「東京都石神井公園のクモ」という報告がある。これは、荘司康治郎氏による平成 16～20 年の間の調査記録である。今回の調査結果に、このデータも合わせると練馬区内での確認種数は 32 科 225 種となり、周辺の区などと比較して非常に多くの種が生息していることになる。

クモ類の調査・識別については、いまだ未発達な部分があるために専門の調査員が少なく、調査結果が担当者の能力に左右されることもある。また、現地調査にかかる労力の違いも確認種数などに影響することから、数値の大きさや比較には注意が必要である。

しかし、それらを差し引いても、区内のクモ類相は豊かであるといえる。

##### ②重要種が少ない

本調査で重要種と位置づけた種に該当したのは、3 種のみであり、そのうち 2 種は都 RL で「情報不足」のランクであった。

##### ③知見の少ない種が多い

本調査で確認した種のうち、2 種が東京都初記録、14 種が 23 区内で初記録であった。これらについては、貴重な記録であるが、その評価が難しい。今後の継続調査や周辺自治体での類似の調査が待たれるところである。

##### ④暖地性の種を確認した

トガリアシナガグモ、マルゴミグモ、クロマルイソウロウグモ、ヤガタアリグモなどの、暖地性の種を確認した。近年このような傾向が見られており、練馬区でも同様のことが確認されたといえる。